パーソナルコンピューター

VGC-M_4 シリーズ
取扱説明書

SONY®

付属マニュアル一覧

取扱説明書類

バイオを使う上での基本

■ 取扱説明書（本書）

・付属品を確認する
・準備をする
・インターネットやメールをする
・拡張する
・リカバリする
・トラブルの解決
・サービス・サポート情報を見る

バイオの画面で見るマニュアル

すべての情報を集約

■ バイオ電子マニュアル

バイオについてのすべての情報が記載されています。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

やりたいことからソフトウェアを選択

■ VAIOナビ

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［VAIOナビ］の順にクリックする。

本機に関する重要なお知らせ

■ 重要なお知らせ

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
　→［重要なお知らせ］の順にクリックする。

ソフトウェアの詳しい使いかたを説明

■ ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

➡各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VGC-M_4シリーズ

Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の仕様については、「主な仕様」（181ページ）をご確認ください。

ソニースタイルでご購入の場合は、お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されていますので、そちらもあわせてご確認ください。

ヒント

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

このマニュアルで表記されている名称について

- **メモリースティックスロット**
  “メモリースティック”を挿入するスロットのことです。
  マジックゲート対応モデルについては、MEMORY STICK（マジックゲート対応メモリースティック）スロットのことを指します。
- **DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）モデル**
  DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）が搭載されているモデルのことです。
- **テレビモデル**
  テレビ/地上アナログデータ放送を見るための機能を搭載したモデルのことです。
- **ダブル録画対応モデル**
  アナログ地上波チューナーが2つ搭載されているモデルのことです。
- **子画面表示機能モデル**
  Do VAIOのテレビ視聴機能に、子画面表示機能が付いているモデルのことです。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェアを確認する」（185ページ）をご覧ください。
- **グラフィックス・メディア・アクセラレータモデルまたはグラフィックアクセラレータモデル**
  各項目で説明しているグラフィックス・メディア・アクセラレータまたはグラフィックアクセラレータが搭載されているモデルのことです。
- **モデム搭載モデル**
  モデムを搭載したモデルのことです。
- **ジョグコントローラー付属モデル**
  ジョグコントローラーが付属されているモデルのことです。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

困ったときは／サービス・サポート

増設／リカバリ

注意事項

次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたは次ページをご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」の使いかた

「バイオ電子マニュアル」は、本機の使いかたや困ったときの解決方法などを画面上で調べることができる電子マニュアルです。

1　[スタート]→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2　見たい項目をクリックする。

画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」(122ページ)をご覧ください。

起動画面

例：電源の切りかたについて知りたいとき

起動画面の［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［電源／起動］→［電源を切る］の順にクリックする。

* ポインタをあてると下線が引かれる文字

バイオ電子マニュアル　目次

バイオの使いかた

「バイオの使いかた」には以下の情報が収録されています。

機能／設定
- 各部の説明
- 設置／拡張
- 電源／起動
- 省電力
- 画面／ディスプレイ
- 音声
- 文字入力／キーボード
- リモコン
- BIOS
- ご注意／その他

楽しむ／保存する
- Do VAIOで楽しむ
- SoundFLOWで楽しむ
- テレビ／ビデオ
- 映像
- 写真
- 音楽
- “メモリースティック”
- フロッピーディスク
- PCカード
- CD／DVDへのデータの保存

インターネット／ネットワーク
- インターネット／電子メール
- ネットワーク（LAN）
- i.LINK
- USB
- プリンタ
- ドライバ

Q&Aで調べる

「Q&Aで調べる」には以下の情報が収録されています。

機能／設定
- 電源／起動
- パスワード
- 画面／ディスプレイ
- 音声
- 文字入力／キーボード
- マウス
- リモコン
- ハードディスク
- ファン

- リカバリ（再セットアップ）
  - リカバリについて
  - リカバリディスクを作成する
  - リカバリする
  - パーティションサイズを変更する

楽しむ／保存する
- テレビ再生／録画
- 外部機器からの録画
- CD／DVDディスク
  - CD／DVDの再生
  - CD／DVDの作成
- “メモリースティック”
- フロッピーディスク
- PCカード
- ソフトウェア

インターネット／ネットワーク
- インターネット接続
  - ダイヤルアップ
  - ADSL
  - ネットワーク（LAN）
- インターネット閲覧
- 電子メール
- i.LINK／DV機器
- プリンタ

その他
- カスタマー登録
- エラーメッセージ

できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアを紹介します。
お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合にご覧ください。

サービスとサポート

有償サービスなど、安心してお使いいただく
ための情報をご案内します。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCV-D11N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ
ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ
個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ご注意／その他]→「その他」の[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。）

事業者のお客様へ
事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログ放送から、デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

次ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

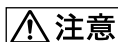
データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータ消去破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修または補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

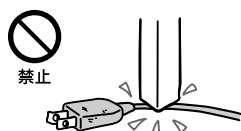
接触禁止

行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。
- メモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書のメモリの増設のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコード、電源プラグ、ネットワーク（LAN）ケーブル、アンテナケーブル（テレビモデル）を抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機のLANコネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TXタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面に長時間触れない

通電中のディスプレイ画面に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。
通電中のディスプレイ画面には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

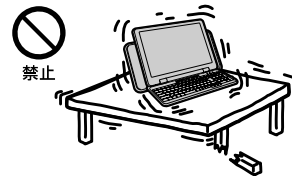
アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意

コンピュータを運搬するときは、キーボードを閉じ、液晶ディスプレイ側を内側にし、本体の左右側面を持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

本機の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

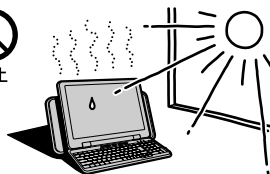
移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

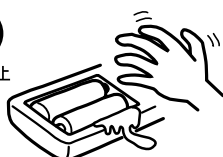
製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

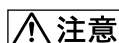
必ず次の処理をする

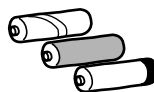
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

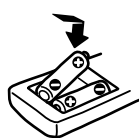
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

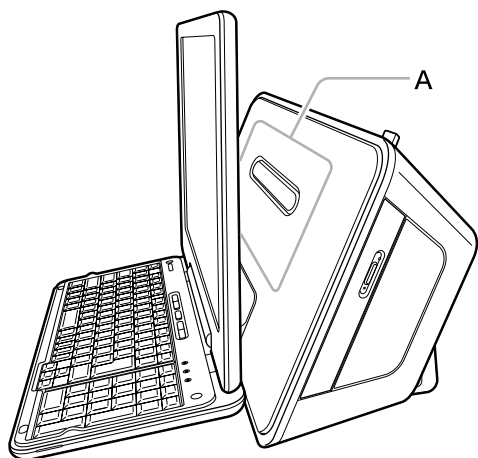
市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面が熱くなることがあります

本機のイラストA部分は、本機の排熱に使用しているため、熱くなることがありますが、故障ではありません。
また、本機の使用状態により排熱量は異なります。

はじめに

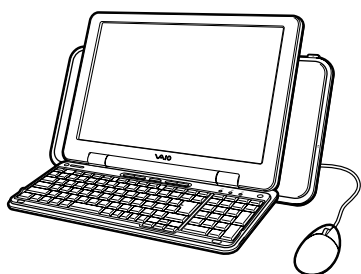
こんなことができます

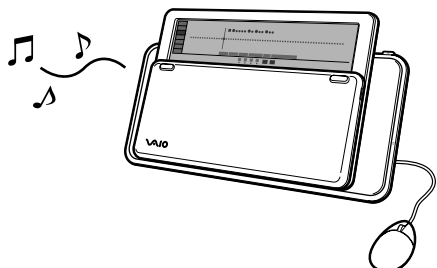
本機は、インターネット（ホームページ／電子メール）・テレビ*・DVD などを楽しんだり、クリアな中高音と迫力ある低音で音楽を聞いたりと、いろいろな楽しさがいっぱいつまったコンピュータです。また、キーボードを閉じて「オーディオポジション」にすれば、本機がジュークボックスに早変わりします。ここでは、本機の特徴を簡単にご紹介します。

*　テレビモデルのみ

本機の２つのポジション

本機は、それぞれ特徴のある2つのポジションを切り換えてお使いいただきます。シチュエーションに合わせて使い分けてください。

キーボードを開いているときは「PCポジション」

インターネット（ホームページ／電子メール）はもちろん、コンピュータがもつさまざまな機能を楽しむときのスタイルです。操作については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

キーボードを閉じているときは「オーディオポジション」

キーボードを閉じるとSoundFLOWが起動して、自動的にBGMとして音楽が再生されます。

SoundFLOWとは

SoundFLOWは、より気軽に音楽コンテンツなどを楽しむためのソフトウェアです。キーボードを閉じて「オーディオポジション」にして、SoundFLOWが起動すると、次の機能を楽しむことができます。

- **自動的に音楽を再生します。　→　次ページ[1]へ**
- **時刻やカレンダーを表示します。　→　次ページ[2]へ**
- **指定した時間に音楽を再生します。（ウェイクアップタイマー）　→　次ページ[3]へ**
- **一定時間後にスタンバイします。（スリープタイマー）　→　次ページ[3]へ**

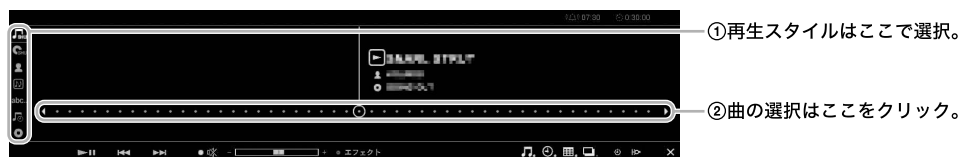
！ご注意

- 同時にソフトウェアを起動していると、SoundFLOWの動作が重くなったり、起動に時間がかかる場合があります。
  また、起動中のソフトウェアでCPU負荷の高い作業をしている場合は、SoundFLOWの起動によって、動作に影響を与える場合もあります。その場合は、キーボードを閉じる前にソフトウェアを終了してください。
- キーボードを開閉するときに、キーボード全体がきちんと机の上にのるように設置してください。
- キーボードを閉じるときは、指などをはさまないようにしてください。

SoundFLOWの使いかた

ここではキーボードを閉じて「オーディオポジション」にしたときに自動的に起動するSoundFLOWの操作について簡単にご紹介します。詳しい説明については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[SoundFLOWで楽しむ]の順にクリックする。)

1 音楽を聞く

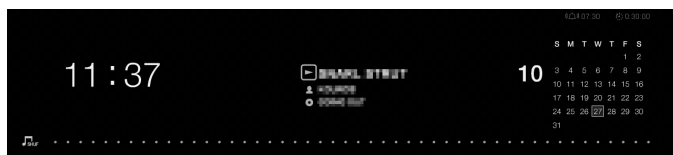
本機のキーボードを閉じれば、SoundFLOWでの音楽再生が始まります。

マウスを動かすと操作画面が表示され、以下の操作ができます。

① マウスを動かし、目的の曲名の上でクリックすると、その曲を再生できます。

② 再生する選曲方法を「アルバム、アーティスト、ジャンルごと」など、お好みのスタイルに変更することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[SoundFLOW で楽しむ]→[SoundFLOW で音楽を聞く]の順にクリックする。)

お好みの曲をSoundFLOW で再生したい場合は、あらかじめ「SonicStage」ソフトウェアで取り込む必要があります。曲を取り込む方法は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[音楽]→[音楽を取り込む]の順にクリックする。)

2 時計／カレンダー

SoundFLOWでは、時刻やカレンダーが表示されます。

マウスを動かすと操作画面が表示されます。

- (時計アイコン)をクリックすると、時刻表示のオン／オフが切り換わります。
- (カレンダーアイコン)をクリックすると、カレンダー表示のオン／オフが切り換わります。

3 タイマー

スリープタイマーの設定をすれば、一定時間後に音楽再生を終了し本機をスタンバイモードにできます。また、ウェイクアップタイマーの設定をすると、指定した時間に音楽再生を始めることができます。

マウスを動かすと操作画面が表示されます。

- (タイマー設定アイコン)をクリックして表示される画面で、タイマー設定ができます。設定については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[SoundFLOW で楽しむ]→[タイマー機能を使う]→[指定した時間に音楽を再生する(ウェイクアップタイマー)]または [一定時間後に自動的にスタンバイにする(スリープタイマー)]の順にクリックする。)

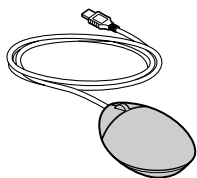
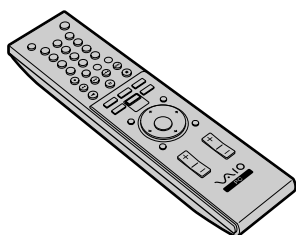
ヒント

テレビモデルでは、SoundFLOWをリモコンで操作することができます。詳しくは、29ページか、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[SoundFLOWで楽しむ]→[SoundFLOWの使いかた]→[SoundFLOWをリモコンで操作する]の順にクリックする。)

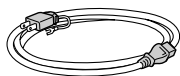
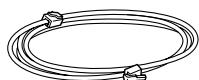
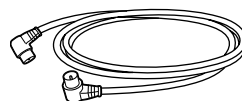
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

❑ コンピュータ本体

❑ マウス

❑ リモコン
（テレビモデルに付属）

❑ 単3形乾電池（2）
（テレビモデルに付属）

ケーブル

❑ 電源コード

❑ テレホンコード

❑ アンテナ接続ケーブル
（テレビモデルに付属）

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ 保証書

❑ VAIOカルテ

❑ ご注意・お知らせ
本機に関する大切な情報が記載された紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ その他のパンフレット類
大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

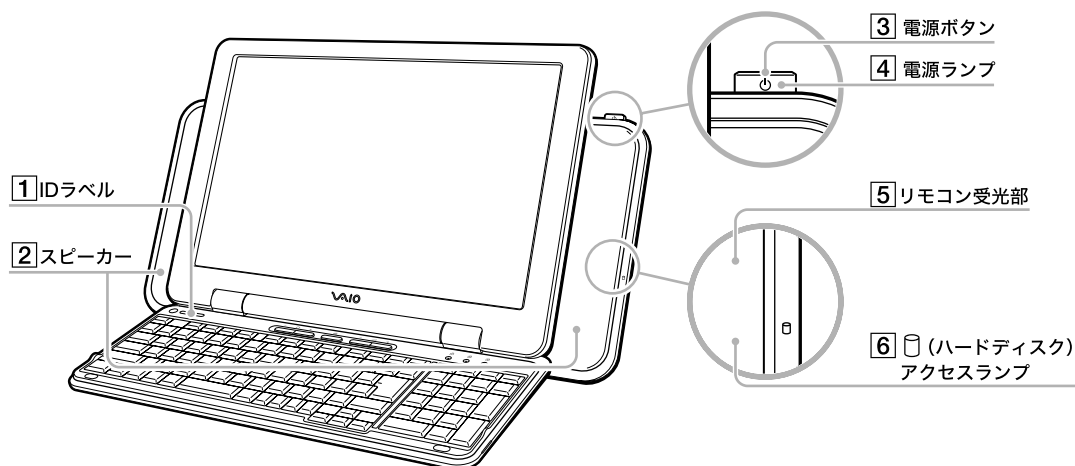
❑ 「Microsoft® Office Personal Edition 2003*」プレインストールパッケージ
型名に「B」を含むモデルに付属されています（例：VGC-M54B/W）。型名は、IDラベル（23ページ）で確認できます。
また、お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（145ページ）をご覧ください。
* この説明書では以降、Office Personal 2003と略します。特に必要な場合は正式名称を記載します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（143ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。詳しくは、「リカバリについて」（158ページ）をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。詳しい説明については、(　　)内のページおよび「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[各部の説明]の順にクリックする。)

前面

1 IDラベル
型名が記載されています。

2 スピーカー
音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

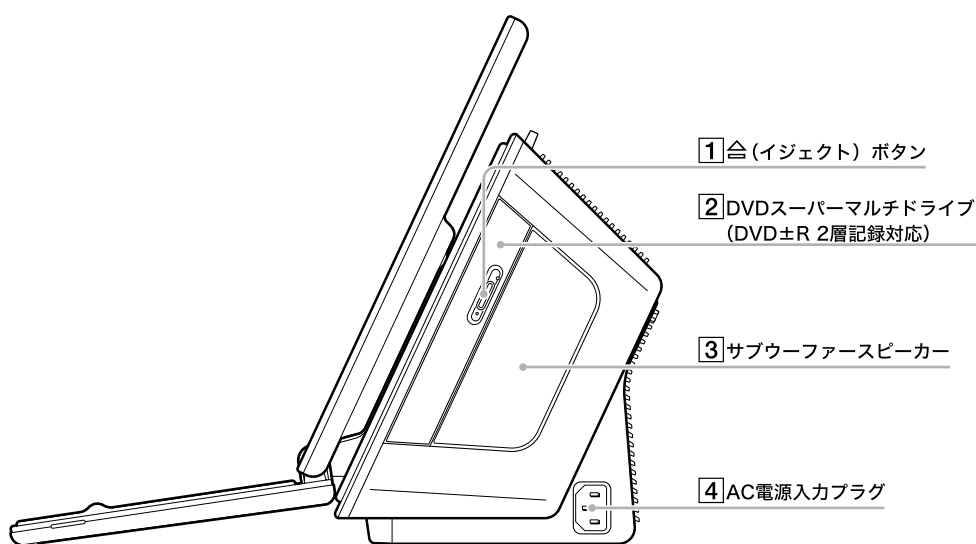
3 電源ボタン(47ページ)
本機の電源を入／切するときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すとスタンバイモード(49ページ)に入ります。

4 電源ランプ(47ページ)
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スタンバイモード(49ページ)時には、オレンジ色に点灯します。

5 リモコン受光部
(テレビモデル)
リモコンの信号を受けます。

6 (ハードディスク)アクセスランプ
ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

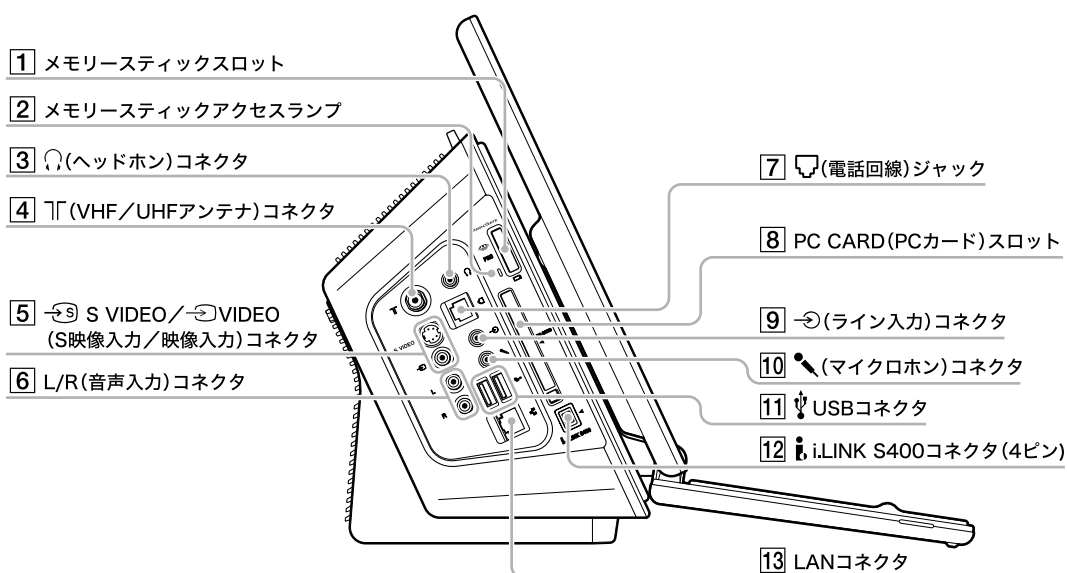
!ご注意
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

右側面

1 **⏏（イジェクト）ボタン**
ドライブのトレイを引き出すときに押します。

2 **DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）（165ページ）**
DVD-ROM／DVD+R DL（Double Layer）／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL（Dual Layer）／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM／CD-ROM／CD-R／CD-RWのデータを読み込んだり、DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM／CD-R／CD-RWにデータを書き込んだりします。
以降、ドライブと略します。
ドライブには、マニュアルイジェクト穴、ディスクアクセスランプがあります。

3 **サブウーファースピーカー**
低音用のスピーカーです。音楽やDVD再生時に低音が出ます。

4 **AC電源入力プラグ（46ページ）**
付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

左側面

1 メモリースティックスロット

“メモリースティック”のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント

本機のメモリースティックスロットは、メモリースティック デュオ アダプターを使用せずに、“メモリースティック デュオ”をそのまま使えます。

2 メモリースティックアクセスランプ

“メモリースティック”のデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

3 (ヘッドホン)コネクタ

市販のヘッドホンをつなぎます。

4 (VHF/UHFアンテナ)コネクタ(42ページ)

(テレビモデル)

テレビアンテナをつなぎます。

5 S VIDEO/ VIDEO(S映像入力/映像入力)コネクタ(44ページ)

(テレビモデル)

- S VIDEO(S映像入力):
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。映像を本機で見たり録画することができます。
- VIDEO(映像入力):
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどにS映像出力コネクタがないとき、映像出力コネクタとつなぎます。

6 L/R(音声入力)コネクタ(44ページ)

(テレビモデル)

ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

7 (電話回線)ジャック(38ページ)

壁の電話回線とつなぎます。

8 PC CARD(PCカード)スロット

PCカードを取り付けます。

9 (ライン入力)コネクタ

オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

10 (マイクロホン)コネクタ

市販のモノラルマイクをつなぎます。

11 USBコネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。

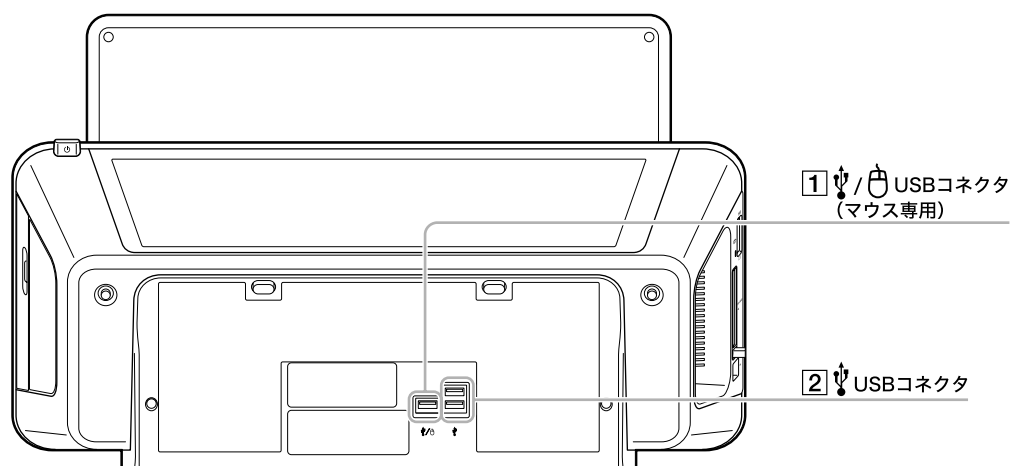
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

12 i.LINK S400コネクタ(4ピン)

i.LINK対応機器をつなぎます。

13 LANコネクタ(40ページ)

ネットワーク(LAN)とつなぎます。

後面

1 USBコネクタ（マウス専用）

付属のマウスをつなぎます。

2 USBコネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

キーボードの各部名称

1 ファンクションキー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

2 Esc（エスケープ）キー
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 Caps Lock（キャプス・ロック）キー
Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押してCaps Lock（キャプス・ロック）が有効になっているときはアルファベットの大文字が入力できます。

4 Shift（シフト）キー
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

5 Ctrl（コントロール）キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 Fn（エフエヌ）キー
キーボード上で四角で囲まれて表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 Windows（ウィンドウズ）キー
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

8 Alt（オルト）キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

9 スペースキー
文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

10 矢印キー
画面上のカーソルを動かします。

11 アプリケーションキー
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

12 数字キー
20 のNum Lock（ナム・ロック）ランプが点灯しているときは、数字を入力できます。

13 Prt Sc/Sys Rq（プリントスクリーン/システムリクエスト）キー
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

14 Pause/Break（ポーズ/ブレイク）キー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

15 Scroll Lock（スクロール・ロック）ランプ
Scroll Lock（スクロール・ロック）が有効になっている場合に点灯します。

16 Insert（インサート）キー
文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

17 Caps Lock（キャプス・ロック）ランプ
Caps Lock（キャプス・ロック）が有効になっている場合に点灯します。

18 NumLk（ナム・ロック）キー
このキーが押されて有効になっているときは、12 の数字キーで数字が入力できます。

19 Delete（デリート）キー
画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

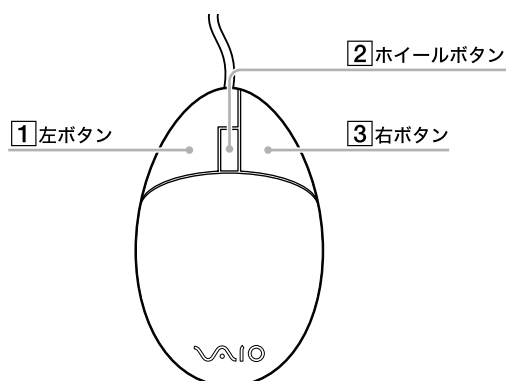
20 Num Lock（ナム・ロック）ランプ
Num Lock（ナム・ロック）が有効になっている場合に点灯します。

21 Backspace（バックスペース）キー
画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

22 ☼（明るさ調節）ボタン
ディスプレイの明るさを調節するときに押します。

23 🔇（消音）ボタン
音を消すときに押します。

24 ◿（音量調節）ボタン
音量を調節するときに押します。

マウスの各部名称

1 **左ボタン**（50ページ）
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

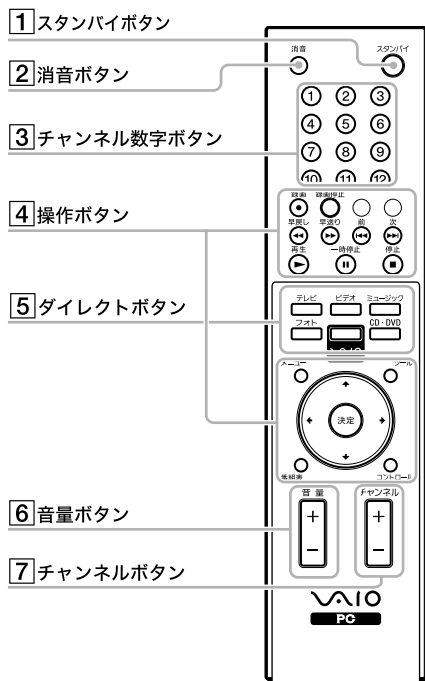
オプティカルマウスとは

オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。
ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

！ご注意

- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面（机、紙、マウスパッドなど）でマウスを操作してみてください（上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります）。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

リモコンの各部名称（テレビモデル）

1 スタンバイボタン
本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します（49ページ）。

2 消音ボタン
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 チャンネル数字ボタン
チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

4 操作ボタン
Do VAIOやSoundFLOWの操作に使用します。
以下はDo VAIOで使用するボタンの一部です。

- メニューボタン
  コンテンツ一覧メニューを表示したり非表示にしたりします。
- ツールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、コンテンツを操作するための操作メニューを表示したり非表示にしたりします。
- 番組表ボタン
  番組表を表示します。
- コントロールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、再生操作ボタンを表示したり非表示にします。
- 上、下（↑、↓）ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左（←）ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右（→）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央（決定）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します（コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します）。

上下左右ボタンに突起が付いています。

前、次、再生、一時停止、停止ボタンは、SoundFLOWでも使用することができます。

5 ダイレクトボタン
目的に合ったDo VAIOの機能を簡単に表示します。

6 音量ボタン
音量を調節します。

7 チャンネルボタン
テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。

ヒント

- リモコンの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［リモコン］の順にクリックする。）
- 1、2、4の一部および6のボタンは、キーボードを閉じてSoundFLOWが起動しているときにも使用することができます。SoundFLOWでのリモコンの使いかたについては「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［SoundFLOWで楽しむ］→［SoundFLOWの使いかた］→［SoundFLOWをリモコンで操作する］の順にクリックする。）

本機をセットアップする

ステップ1:	設置する

ステップ2:	接続する

ステップ3:	電源を入れる

ステップ4:	Windowsを準備する

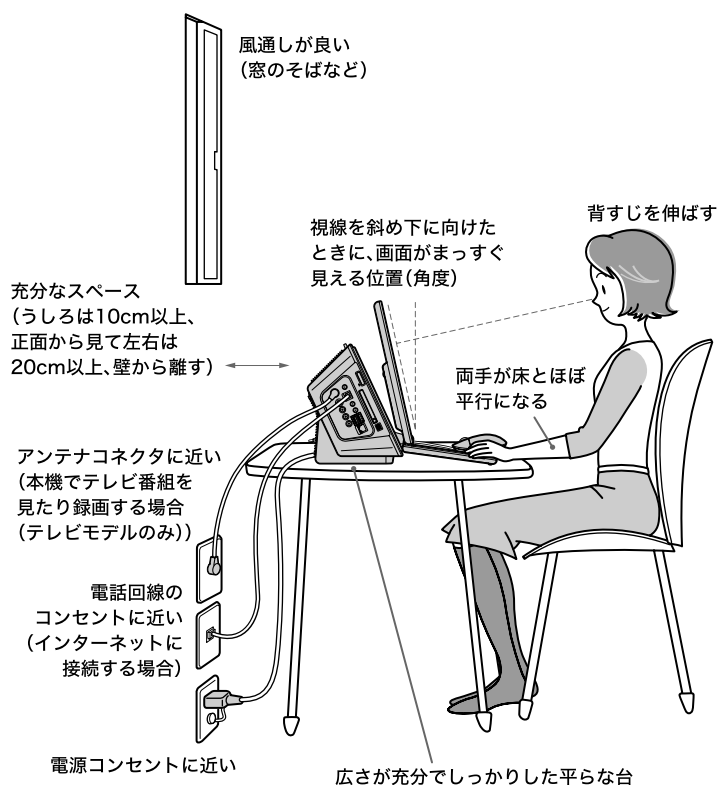
ステップ5:	カスタマー登録する

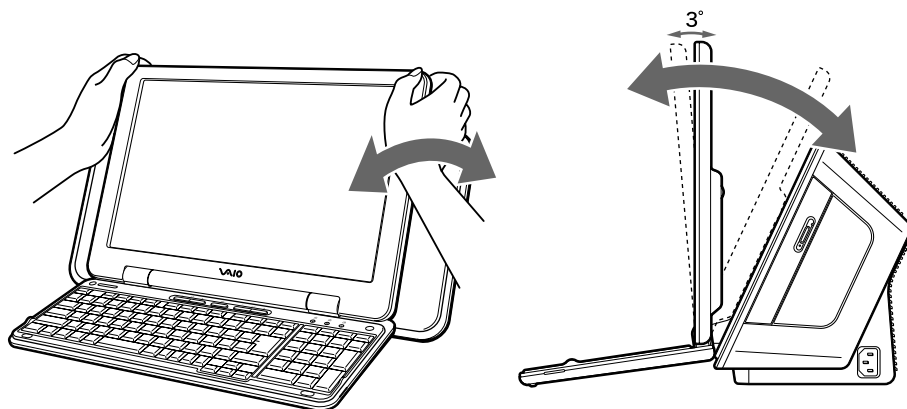
ステップ6:	基本設定を行う

ステップ7:	バイオをはじめる前の準備を行う

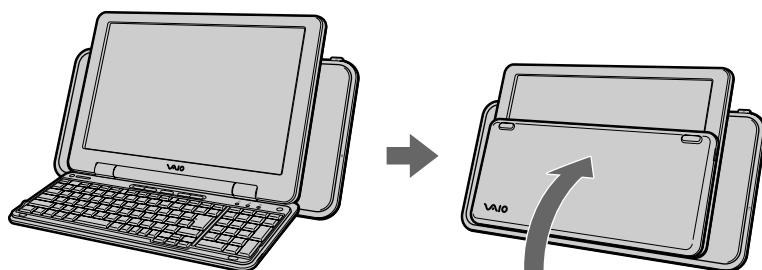
ステップ1:
設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

ディスプレイの角度を調整するには

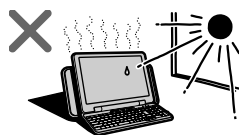
ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

！ご注意
液晶ディスプレイは、垂直状態から手前側にはおよそ3度までの範囲で傾けることができます。それ以上手前に傾けると本機の故障の原因となりますのでご注意ください。

キーボードを開閉するには

キーボードは閉じることができます（オーディオポジション）。音楽の再生などを楽しむときに便利です。

- キーボードを閉じるときは、指などをはさまないようにしてください。
- キーボードを開閉するときに、キーボード全体がきちんと机の上にのるように設置してください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

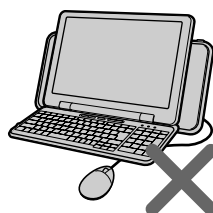
❑ **直射日光が当たる場所**

❑ **暖房器具の近くなど、温度が高い場所**

❑ **湿気が多い場所**

❑ **磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く**

❑ **ほこりが多い場所**

❑ **風通しが悪い場所**

設置時のご注意

次のことをお守りください。

!ご注意

- 液晶ディスプレイ部を持って移動しないでください。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルトなどで液晶ディスプレイなどにキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本体を持つときは、イラストと同じように、液晶ディスプレイ（キーボード側）を手前にして持ってください。

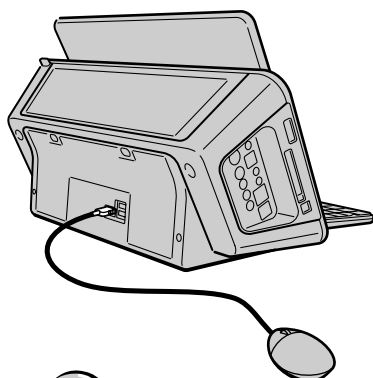
故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

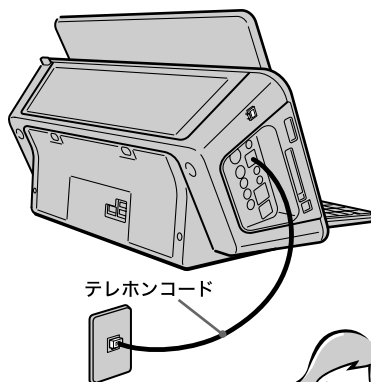
- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
  移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

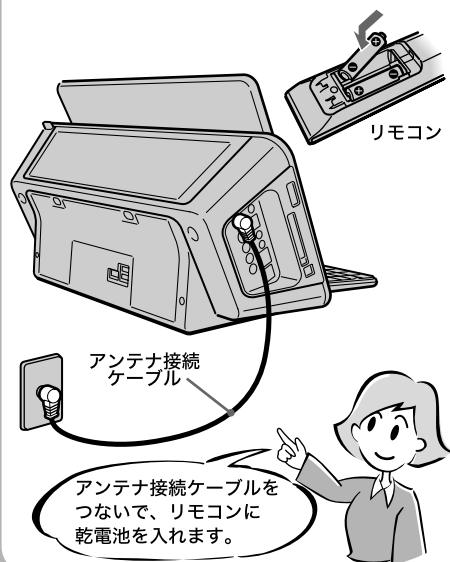
設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（12ページ）。

ステップ2：
接続する

以下の手順に従って、マウス、テレホンコード、アンテナ（テレビモデル）、電源コードを接続し、リモコン（テレビモデル）を準備します。

ここでは、全体の流れを紹介します。各詳細の準備手順は38ページから46ページをご覧ください。

マウスの接続については、「マウスを接続する」（38ページ）をご覧ください。

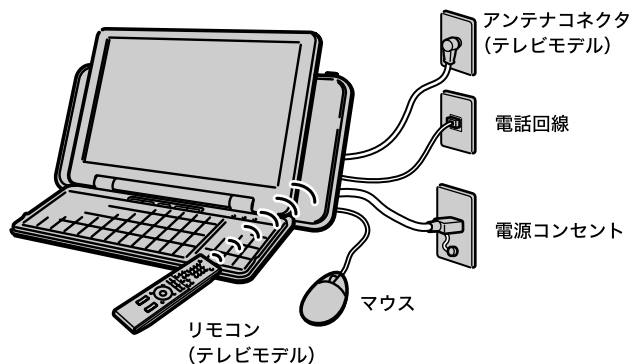
！ご注意
キーボードの下にマウスのケーブルをはさまないようにご注意ください。

電話回線の接続については、「一般電話回線／インターネット接続用機器をつなぐ」（38ページ）をご覧ください。

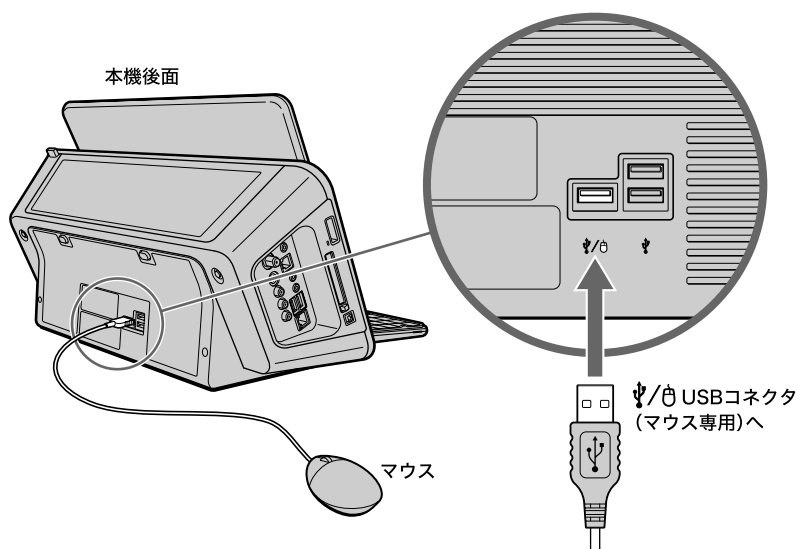
- 「一般の電話回線につなぐときは」（38ページ）
- 「ADSL／FTTH／CATVを利用するときは」（40ページ）
- 「ISDN回線を利用するときは」（40ページ）

テレビを見る準備については、以下のページをご覧ください。

- 「リモコンを準備する」(41ページ)
- 「アンテナにつなぐ」(42ページ)
- 「ビデオデッキやCS･BSチューナーを接続する」(44ページ)

電源コードの接続については、「電源コードを接続する」(46ページ)をご覧ください。

!ご注意

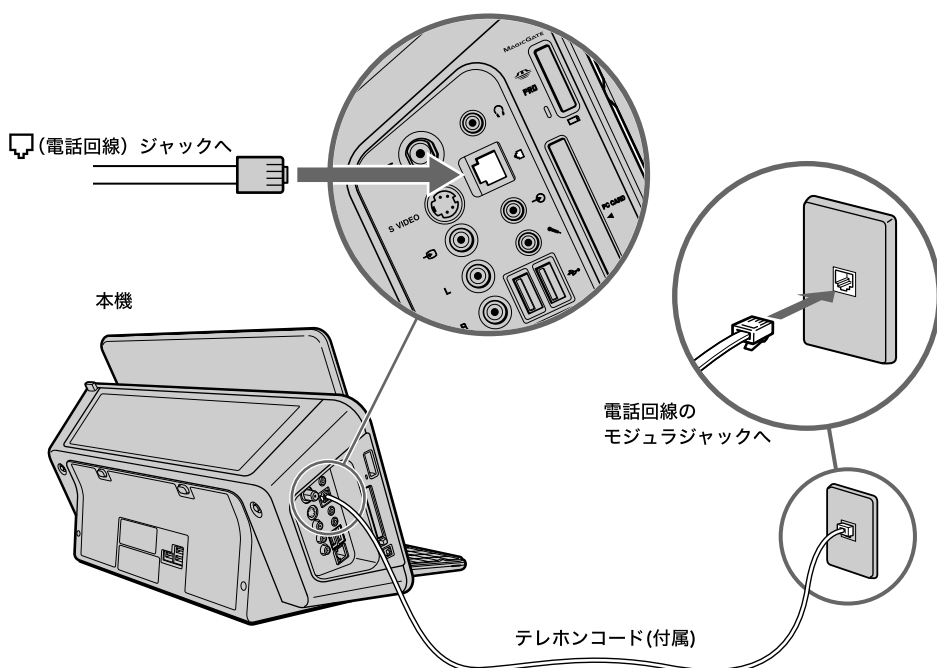
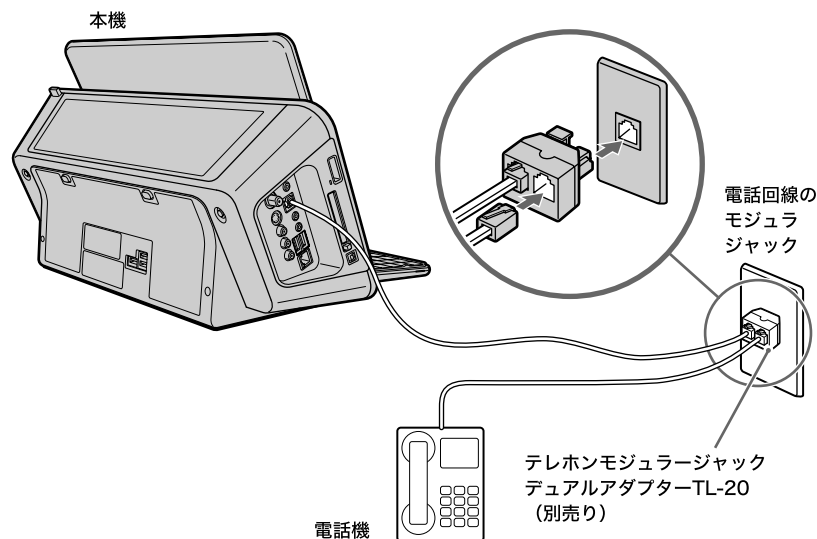
リモコンを使用するときは、右スピーカー右端のリモコン受光部に向けて操作してください。

1 マウスを接続する

マウスを本機に接続します。

2 一般電話回線／インターネット接続用機器に接続する

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスやISDN回線に接続する方法があります。

!ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

一般の電話回線につなぐときは

付属のテレホンコードの一方を本機の（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。

電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプターTL-20（別売り）など）を使って接続します。

!ご注意
テレホンコードは本機左側面のLANコネクタに接続しないでください。

ヒント
ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

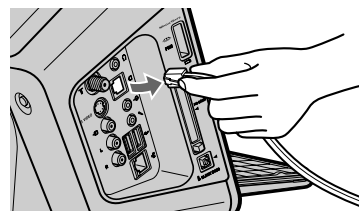
本機からテレホンコードを取りはずすには

① （電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

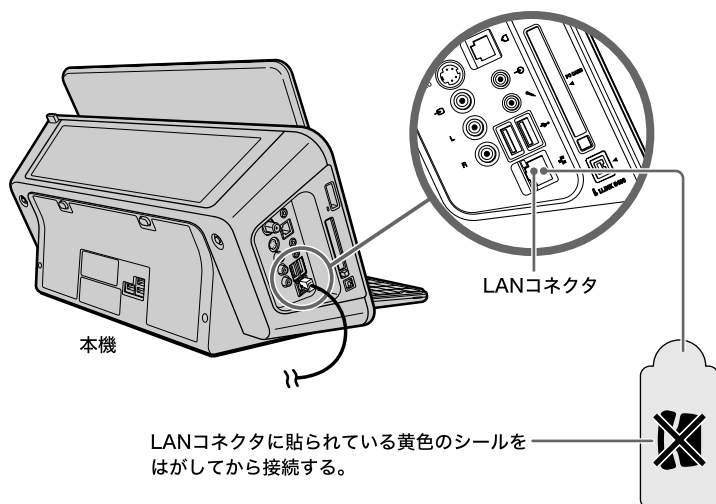
② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら、本機の手前の方へ引き抜く。

この部分のロックを押す。

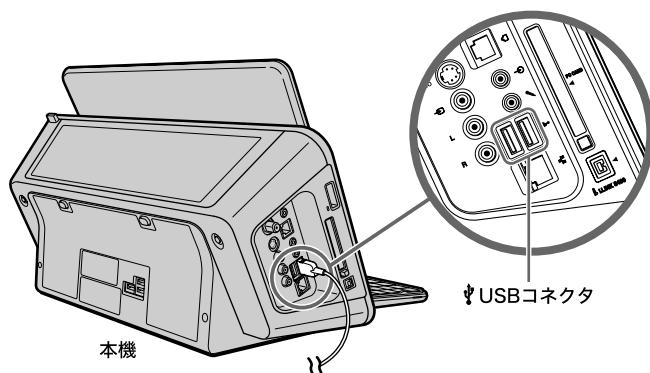
モジュラアダプタ部分を本機に押し込む。

本機の手前の方へ引き抜く。

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは

ADSL／FTTH／CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

！ご注意

LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

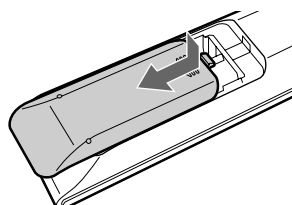
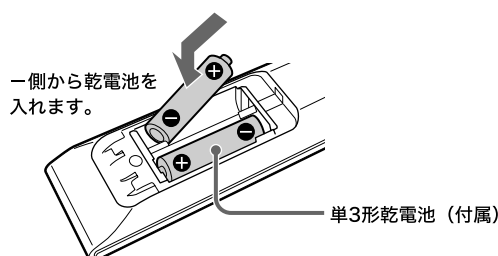
ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

ヒント

本機後面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

3 リモコンを準備する(テレビモデル)

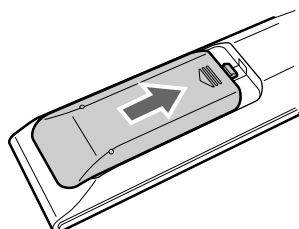
リモコンに乾電池を入れます。

1 リモコンを裏返す。

2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

3 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形乾電池を2本入れる。

!ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

4 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

ヒント

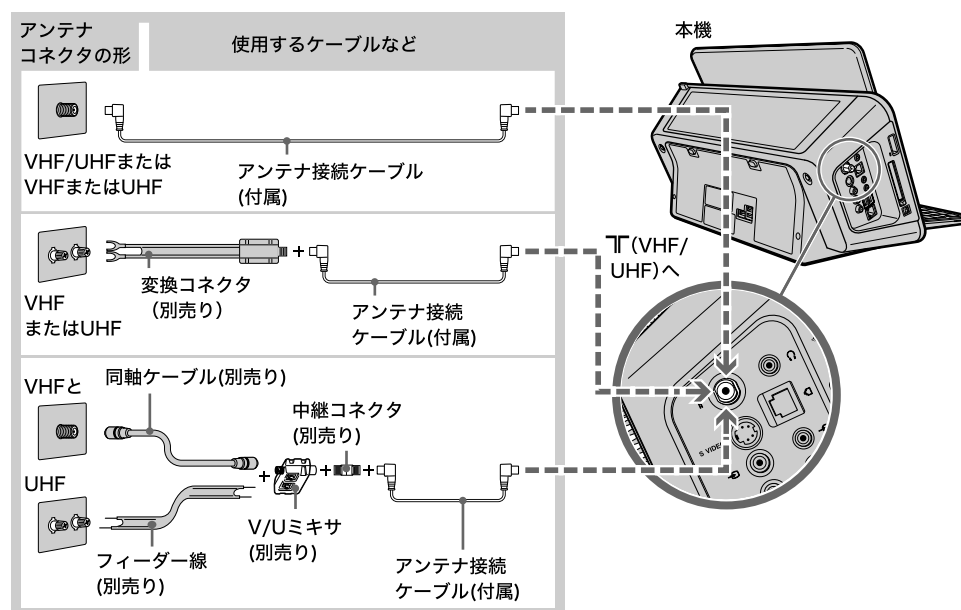
- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]の順にクリックする。)

4 アンテナにつなぐ(テレビモデル)

テレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。
アンテナコネクタの接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

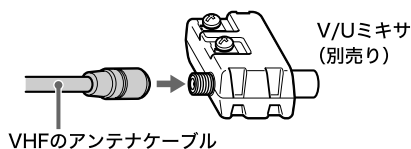
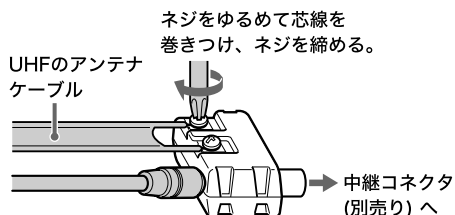
- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

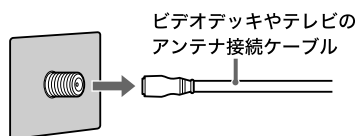
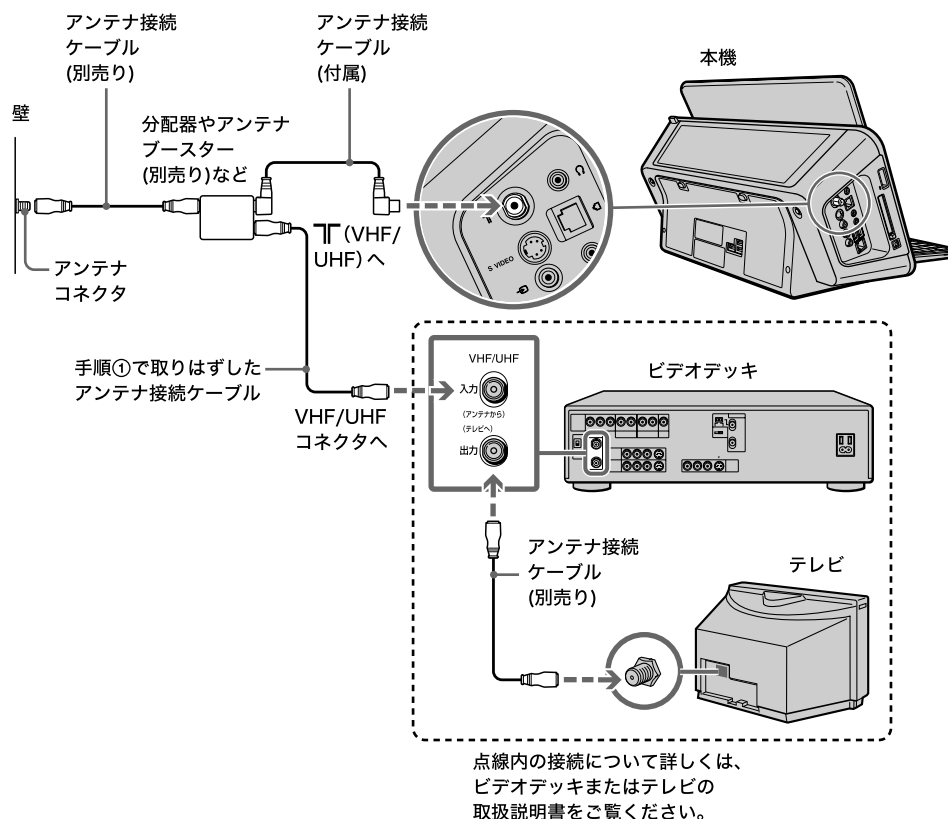
以下のようにアンテナを接続します。
アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

!ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

① VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

② UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❏ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

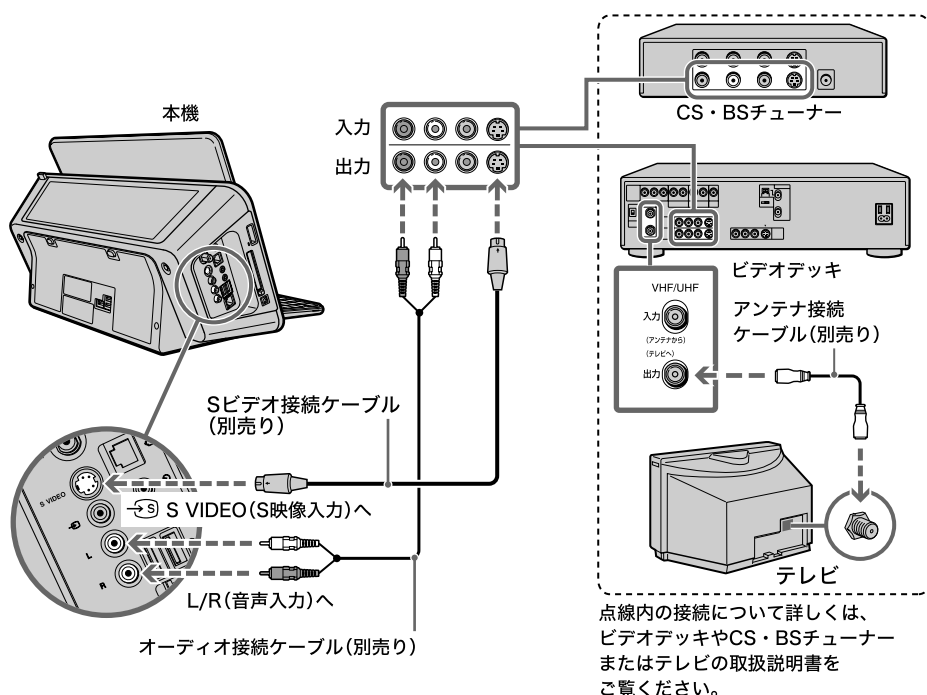
① 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

② アンテナを接続する。
別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」（42ページ）に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

5 ビデオデッキやCS･BSチューナーを接続する（テレビモデル）

ヒント
ビデオデッキやCS･BSチューナーは必要に応じて接続してください。

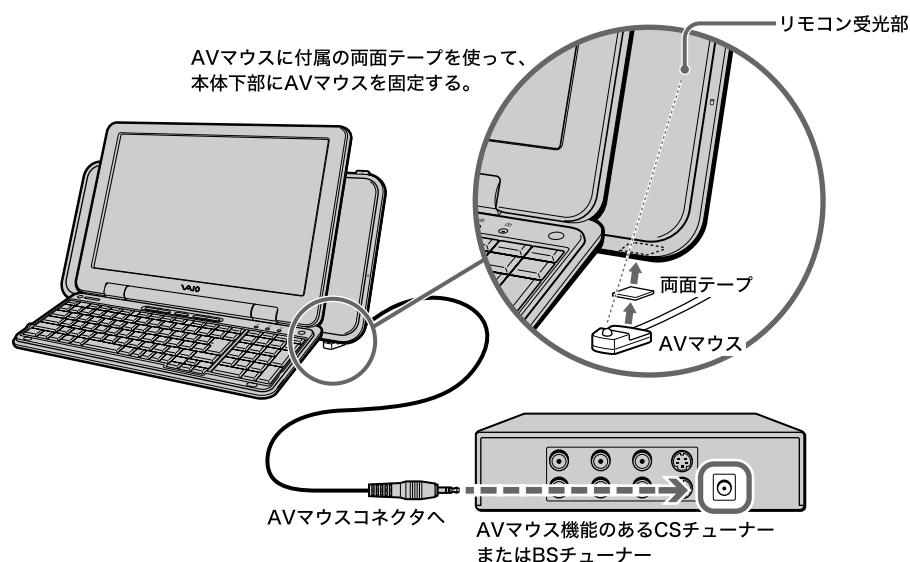
本機とビデオデッキやCS･BSチューナーの映像／音声の入出力コネクタ同士をつなぐと、以下のことができるようになります。

- ビデオデッキやCS･BSチューナーで再生する映像を本機で見る。
- ビデオデッキやCS･BSチューナーで再生する映像を本機に録画する。

ご注意
著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。

ご注意

- 本機のS VIDEO（S映像入力）コネクタを使うときは、VIDEO（映像入力）コネクタにビデオ接続ケーブルをつなぐ必要はありません。S VIDEO（S映像入力）コネクタにSビデオ接続ケーブルをつなぐと、S VIDEO（S映像入力）コネクタが優先して使用されます。
- 本機とS映像出力コネクタのあるビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐときはビデオデッキやCS･BSチューナーの音声出力コネクタと本機のL/R（音声入力）コネクタをオーディオ接続ケーブルでつなぎ、ビデオデッキやCS･BSチューナーのS映像出力コネクタと本機のS VIDEO（S映像入力）コネクタをSビデオ接続ケーブルでつなぎます（このときビデオ接続ケーブルは使いません）。
- 本機とS映像出力コネクタのないビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐときはビデオデッキやCS･BSチューナーの音声出力コネクタと本機のL/R（音声入力）コネクタをオーディオ接続ケーブルでつなぎ、ビデオデッキやCS･BSチューナーの映像出力コネクタと本機のVIDEO（映像入力）コネクタをビデオ接続ケーブルでつなぎます（このときSビデオ接続ケーブルは使いません）。

AVマウス機能付きCS・BSチューナーをつなぐとき

AVマウス機能のあるCS・BSチューナーに付属のAVマウスを取り付けると、CS・BSチューナーの予約録画機能を使ってDo VAIOに番組の予約録画を行うことができます。
AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、Do VAIOのヘルプ、およびCS・BSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

!ご注意

- 本機の電源を切った状態や休止状態ではDo VAIOは実行されません。Do VAIOを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモードにしてください。詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合してDo VAIOでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

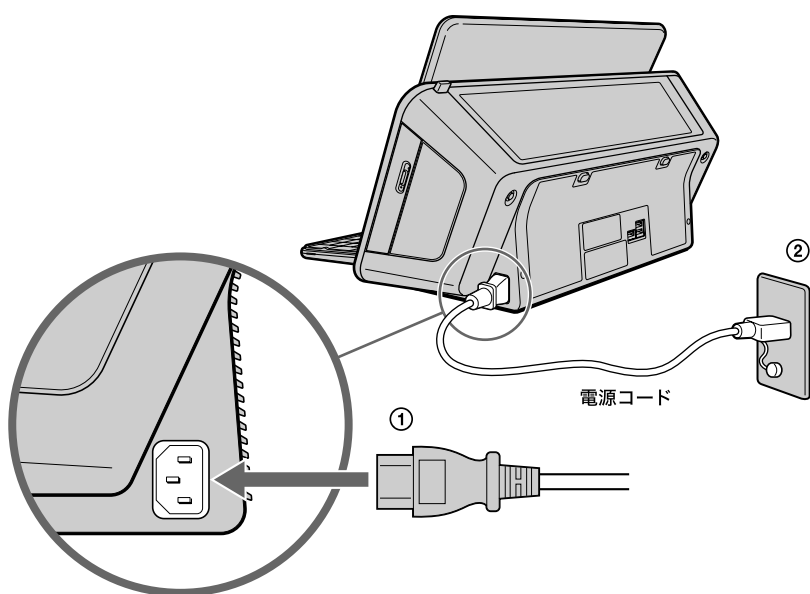
6 電源コードを接続する

本機を電源コンセントに接続します。

!ご注意

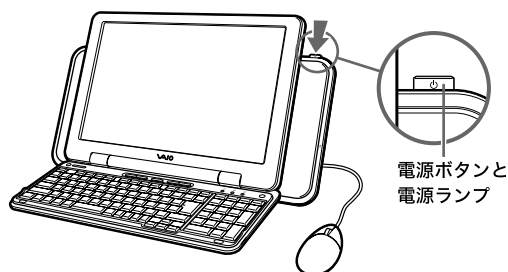
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は国内専用です。交流100Vでお使いください。

1 付属の電源コードのプラグを本体のAC電源入力プラグに奥までしっかりと差し込む。

2 電源コードのアースを接続し、壁の電源コンセントに差し込む。

ステップ3:
電源を入れる

本機の電源を入れます。

1　本機の電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、電源ランプが緑色に点灯し、Windowsが起動します。
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。電源ボタンは軽く押し、すぐに離してください。

ヒント
電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。
省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(49ページ)をご覧ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」(50ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ご注意
Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

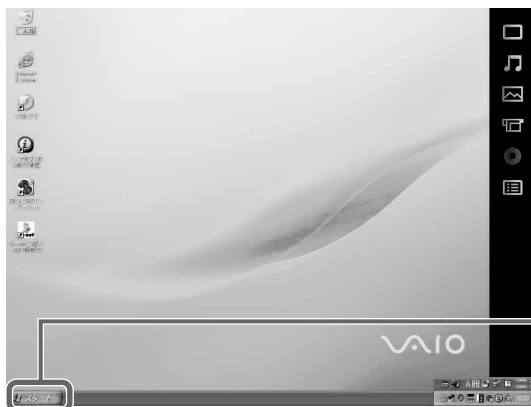
2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「セキュリティについて」(73ページ)をご覧ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 ［スタート］ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2 ［終了オプション］をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

！ご注意

- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する」の手順7（53ページ）で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

省電力機能について

本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スタンバイモード」と「休止状態」の2つのモードが用意されています。モードごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて設定をしてください。

	スタンバイモード	休止状態
本機の電源ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。また、通常動作モードへ短時間で復帰できるので、Do VAIOを常時使用しているときなどに便利です。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。本機の電源コードを電源コンセントより抜いて移動したいときに便利です。
各モードに入るには	• 本機の電源ボタンを押す。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す（テレビモデル）。 • [スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 一定時間が経過するとスタンバイモードに入るよう、スリープタイマー設定をする（オーディオポジション時のみ）。スリープタイマーについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[SoundFLOWで楽しむ]→[タイマー機能を使う]→[一定時間後に自動的にスタンバイにする（スリープタイマー）]の順にクリックする。） • キーボードを閉じるとスタンバイモードに入るよう、「バイオの設定」画面で設定する（105ページ）。	[スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[休止状態]をクリックする。
通常の動作モードに戻すには	• 本機の電源ボタンを押す。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す（テレビモデル）。	本機の電源ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードを電源コンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[省電力]の順にクリックする。）

ステップ4：

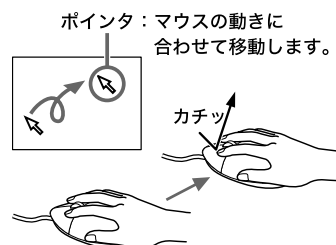
Windowsを準備する

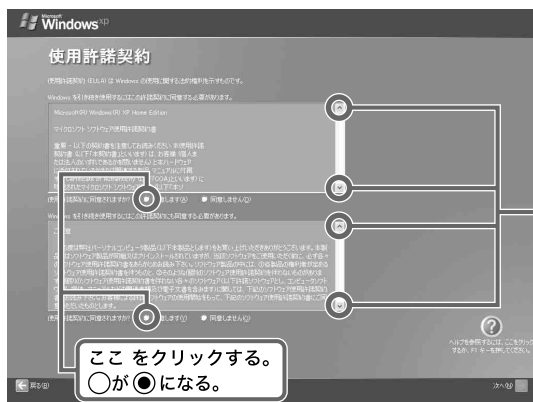
本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント
次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある→(次へ)をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

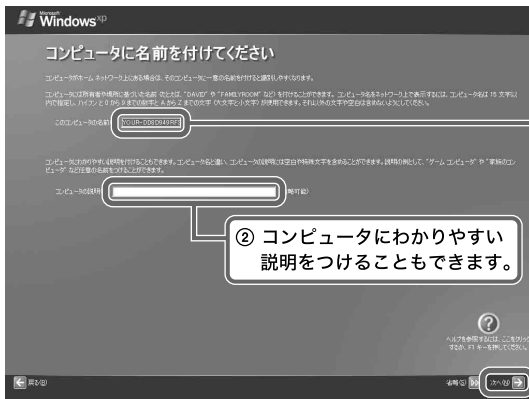
ヒント
マウスを動かして→(次へ)の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」と言います。

ご注意
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の◯をそれぞれクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータを保護してください」画面が表示されます。

3 [自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます]の◯をクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

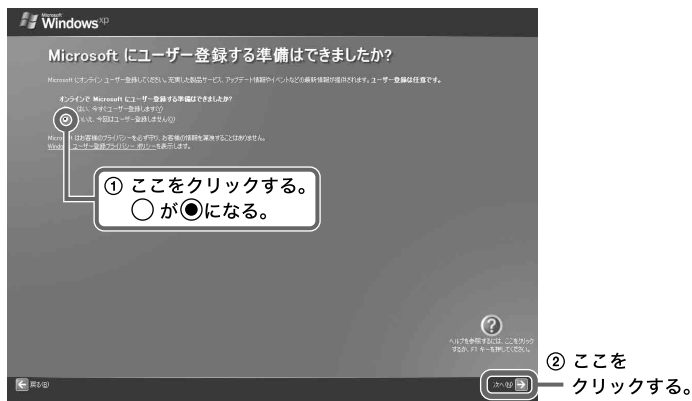
!ご注意
どちらか一方でも[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

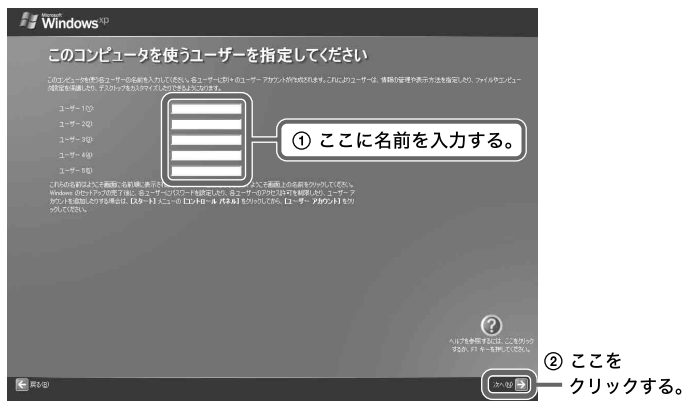
4　必要な場合はコンピュータ名を変更し、→(次へ)をクリックする。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されます。

ヒント
- 名前の入力は省略してもかまいません。
- コンピュータの名前やコンピュータの説明は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

5　「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示された場合は、▷▷(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

6 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の ◯ をクリックして◉ にし、➡(次へ)をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

7 ユーザーの名前を入力し、➡(次へ)をクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ヒント

- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角/全角|漢字キーで入力を切り替えられます)。
  ユーザー名の例:
  SONY太郎
  hanakoのパソコン
  など
- Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。

ユーザーの追加や文字の入力方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

8 (完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ヒント

起動後、日時が合っていない場合は以下の手順で合わせてください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

！ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

本機には、コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続からコンピュータを守る「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされています。「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないようになっていますので、Windowsのセットアップの終了後、あわせて設定を行うようにしてください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行うには

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ[Norton Internet Security]をクリックすると表示される「Norton Internet Security」画面で行えます。

ヒント

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」画面が表示されます。この画面が表示されたら、画面の指示に従って「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定では、以下の処理が行われます。

- **Norton Internet Security**
  使用許諾契約や更新サービス有効期間の確認が行われます。
- **ホームネットワークウィザード**
  本機にLANケーブルを接続していると表示されます。本機が接続されているネットワークの環境について設定します。

  ヒント
  「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定時にホームネットワークウィザードが行われなかった場合は、ネットワークに接続後、以下の手順でホームネットワークウィザードを実行してください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ[Norton Internet Security]をクリックする。
「Norton Internet Security」画面が表示されます。

② 中央の[ファイアウォール]をクリックして右下の[設定]ボタンをクリックする。
ファイアウォールの設定画面が表示されます。

③ [ネットワーク]をクリックして[ウィザード]をクリックする。
「ホームネットワークウィザード」画面が表示されるので画面の指示に従って設定してください。

- **LiveUpdate**
  インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。

  ヒント
  「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定をしていると、LiveUpdateの実行前後に「緊急の注意」、「ウイルス定義ファイルの警告」などが表示されます。これらについて、いったん無視してLiveUpdateを完了してください。
  詳しくは「「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について」(55ページ)をご覧ください。

！ご注意
LiveUpdateによって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。インターネット接続サービスを提供する会社(インターネットサービスプロバイダ)との契約を行っていないなどの理由でインターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

- **「緊急の注意」画面、「注意が必要」画面**
  「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。初期設定時に表示された場合は[閉じる]をクリックしていったん閉じてください。

  ヒント
  初期設定時のLiveUpdateが終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左の[Norton Protection Center]をクリックすると表示される画面で「保護の状態」が「緊急の注意」または「注意が必要」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。
- **「アウトブレーク警告」画面**
  被害報告が増えているコンピュータウイルスなどがあるときに表示されます。内容を確認して[閉じる]をクリックしてください。
- **「ウイルス定義ファイルの警告」画面**
  「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新が長期間行われていないと表示される警告です。初期設定時に表示された場合は、LiveUpdateの完了後、「ウイルス定義ファイルの警告」画面の[OK]をクリックして指示に従ってください。

以上で、本機を使う準備ができました。

ステップ5:
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社(以下、「ソニー」)は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。
なお、保証については「保証書とアフターサービス」(142ページ)をご覧ください。
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」(140ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供します。

- 電子メールアドレスを登録されたお客様のみを対象として、電子メールによるバイオに関するさまざまな情報をご提供します。
- ご所有の機種に対応したサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。
  - お客様からの個別のご質問をインターネット経由で受け付け、VAIOカスタマーリンクから返信する「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)をご利用いただけます。
- VAIOカスタマーリンクホームページにて各種サポート(VAIO e-Support)をご利用できます。
  - VAIOカスタマイズサービス などをホームページ上からお申し込みできます。
- バイオの使いかたのご質問や技術的なお問い合わせを、VAIOカスタマーリンクがお電話で承ります。

VAIOカスタマー登録を行っていただいた場合に発行されるもの

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証(ログイン=ご本人様であることの確認)に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。
このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、インターネット経由で行うことができます。

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、VAIOホームページ内(http://www.vaio.sony.co.jp/)のページ上で行うことができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［VAIOオンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 内容をよく読み、［ご登録ページへ］をクリックする。

画面の指示に従って入力し、登録を完了します。

「お客様サポート番号」と「My Sony ID」について

登録が完了すると、「お客様サポート番号」「My Sony ID」が画面に表示されます。

！ご注意

- 「お客様サポート番号」「My Sony ID」は忘れないように控えておいてください。なお、「My Sony ID」は登録メールアドレス宛に送信されます。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ステップ6：
基本設定を行う

Do VAIOの設定をする

Do VAIOとは

Do VAIOは、テレビやビデオなどの映像（テレビモデル）、音楽、デジタル写真、音楽CD、DVDをコンピュータで楽しむための統合プレーヤーです。

はじめてDo VAIOを使うときは、次の手順に従ってテレビを見るためのチャンネル設定（テレビモデル）や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。
基本設定を行う前に、アンテナ接続（テレビモデル）を行ってください（42ページ）。

！ご注意
Do VAIOの準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

❑ テレビモデルをお使いの場合

1 **リモコンのVAIOボタンを押すか、［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO］をクリックする。**

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする。**

「テレビを見るための準備を行います。はじめにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

Do VAIO の準備

テレビを見るための準備を行います。
はじめにお住まいの地域を選択してください。

都道府県：東京

地域：東京

選択した地域の既定のチャンネル一覧

次へ進む前に、コンピュータにテレビアンテナケーブルが
正しく接続されているか確認してください。

次へ

「制限付きアカウント」をもつユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

5 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が☑になっていることを確認して[次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。

ヒント
- [検出に失敗したチャンネルを削除する]を☐にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。チャンネルの追加や削除はあとで行うことができるため（61ページ）、通常は☑のままにしておくことをおすすめします。
- 「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント

[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。)またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

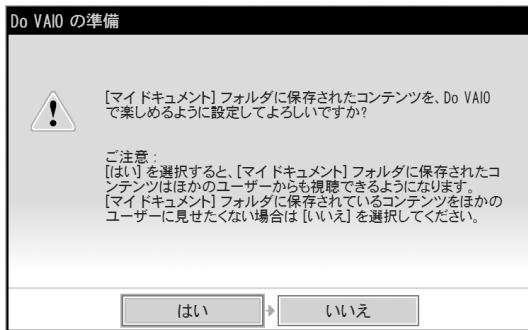
❑ 非テレビモデルをお使いの場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント
［はい］をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、［いいえ］をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO 設定］をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［Do VAIOで楽しむ］の順にクリックする。）またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

チャンネル設定を変更する（テレビモデル）

Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル設定をしても映らないチャンネルがあったり、ご使用の地域で受信できるチャンネルと実際のチャンネルが異なる場合は、次の手順でチャンネル設定を変更することができます。

！ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

一部のチャンネルが映らない場合

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO設定］をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

選択したチャンネルが一覧から削除されます。

5 [追加]をクリックする。

「チャンネルの追加」画面が表示されます。

6 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3〜6を繰り返し、設定してください。

ヒント
チャンネル名は、[指定した地域のチャンネル]または[ほかの地域のチャンネル]の一覧から選択してください。ご希望のチャンネルが一覧に含まれていない場合は、[指定した地域のチャンネル]の一覧にチャンネル名を入力することができます。

すべてのチャンネルが映らない場合

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO設定]をクリックする。**

「設定」画面が表示されます。

2 **[テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。**

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 **[チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。**

4 **確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。**

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

5 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

6 [次へ]をクリックする。

チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
[検出に失敗したチャンネルを削除する]を□にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は☑のままにしておくことをおすすめします。

7 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が☑になっていることを確認して[完了]をクリックする。

ステップ7:
バイオをはじめる前の準備を行う

引き続き、「バイオをはじめる前の準備」で設定を行います。
「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[バイオをはじめる前の準備]をクリックする。

「バイオをはじめる前の準備」が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ **インターネットに接続したい。**
→68ページをご覧ください。

❑ **電子メールをやりとりしたい。**
→71ページをご覧ください。

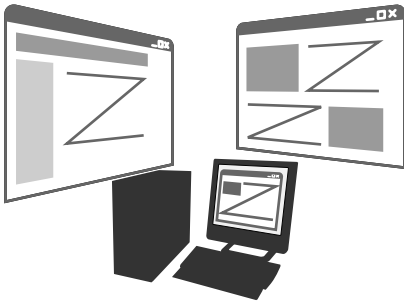
❑ Windows**の基本操作を知りたい。**
→「できるWindows for VAIO」をご覧ください。
（「バイオ電子マニュアル」の[できるWindows for VAIO]をクリックする（8ページ）。）

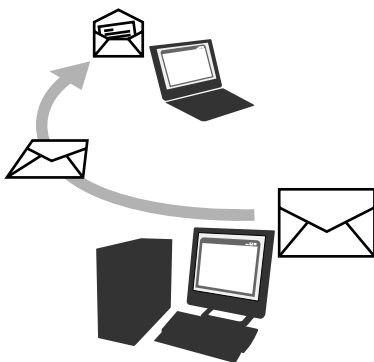
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

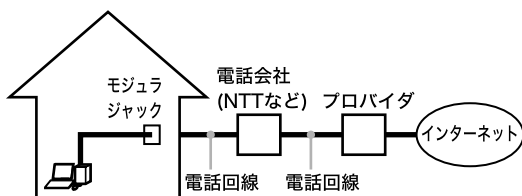
こんなこともできます

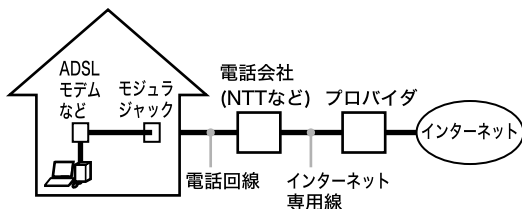
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作って他のインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

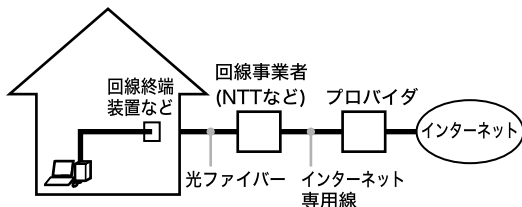
インターネット接続サービスの種類

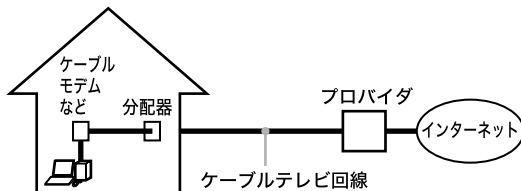
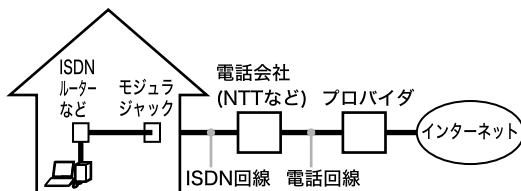
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータなら他に機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○/◎	◎
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」(145ページ)をご覧ください。
また、契約の際に本機を電話回線に接続する必要がある場合は、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」の「一般の電話回線につなぐときは」(38ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。
なお、本機のコネクタ部分については、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」(38ページ)でご確認いただけます。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

!ご注意

- ご利用の接続方法によっては、インターネットを利用する際に接続する手順が必要な場合があります。接続の方法については、ご利用のプロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。
- 画面は2004年6月現在のものです。

1「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[インターネット]をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

ヒント

- ホームページが表示されなかったり、「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」の画面が表示された場合は、インターネットに接続されていない可能性があります。
  接続方法について詳しくは、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。
- 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

2 リンクをたどる

ホームページには、クリックすると他のホームページに移動したり、インターネット上からデータを本機にコピー（ダウンロード）することができる文字や画像があります。このようなしくみを「リンク」と言います。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページにあるリンクをクリックして、製品別サポート情報のホームページに移動してみましょう。

1 マウスやタッチパッドなどを使って （ポインタ）を［製品別サポート情報］に合わせて、 に変わったらクリックする。

製品別サポート情報のホームページが表示されます。

ヒント

ホームページの中で、 （ポインタ）が に変わる文字や画像は、リンクが設定されているところです。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

1 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックする。

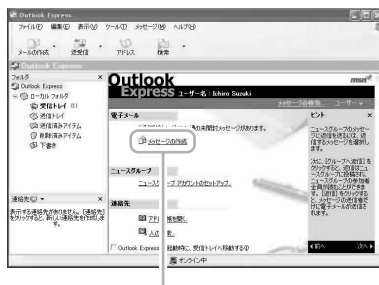
「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ヒント

「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」の画面が表示された場合は、インターネットに接続されていない可能性があります。また、「インターネット接続ウィザード」の画面が表示される場合は、インターネットへの接続や電子メールの設定が行われていない可能性があります。
接続方法や設定方法について詳しくは、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。

2 電子メールを送信する

ためしに自分の電子メールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 ［メールの作成］をクリックする。

ここをクリックする。

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。
タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。
文字の入力のしかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

ここに送り先(今回は自分)の電子メールアドレスを入力する。

ここにメッセージのタイトルを入力する。

ここにメッセージの本文を入力する。

3 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」ソフトウェアのツールバーの[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

3 電子メールを受信する

手順 2 で送った自分の電子メールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。

手順 2 で送った電子メールが届きます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 接続時間で料金が変化する接続サービスを利用している場合で、電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう。
  切断方法については、プロバイダから送られてきたマニュアルをご覧ください。

4 受け取った電子メールを見る

手順 3 で届いた電子メールを見てみます。

1 [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

5 送った電子メールを見る

手順 2 で送った電子メールを見てみます。

1 画面左上の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット／ネットワーク」の[電子メール]の順にクリックする。)
「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレス宛てに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られるようになる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。

- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton Internet Security」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記のシマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて
本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]→[Norton Internet Security]をクリックする。

② 表示される画面の、「LiveUpdate」をクリックする。

③ 指示に従って「LiveUpdate」を実行してください。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター
ホームページ:http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

!ご注意

本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
本機取扱説明書の「Windowsを準備する」(50ページ)の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

！ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
Windows XPサービスパック関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモした上で、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。
- **インターネットオークション詐欺**
  インターネットオークションでお金だけ支払わせて商品を送らない、商品を送らせておいてお金を支払わないという詐欺です。
  取引相手が信頼できるかどうかを過去の取引履歴などから判断することが重要です。取引履歴をどう読み取るかなどの詳しい判断方法についてはインターネットオークションのサービス提供者が提供する情報をご覧ください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力を止めるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号：(0466)30-3016
受付時間：平日 10:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

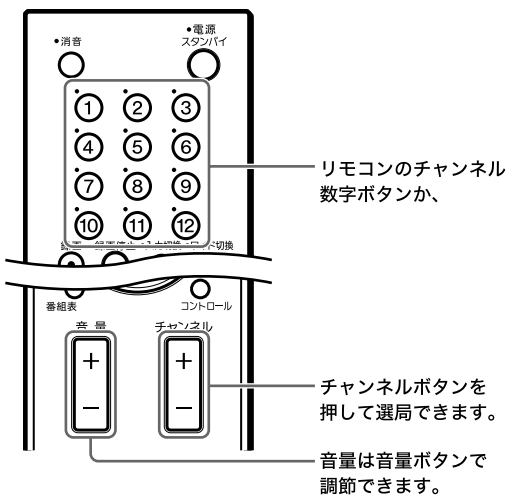
テレビ・ビデオ（テレビモデル）

テレビ番組を見る

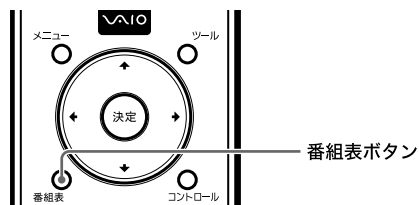
テレビ番組の視聴はDo VAIOで行います。起動も選局もリモコンで操作できます。

1　リモコンのテレビボタンを押す。

Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。

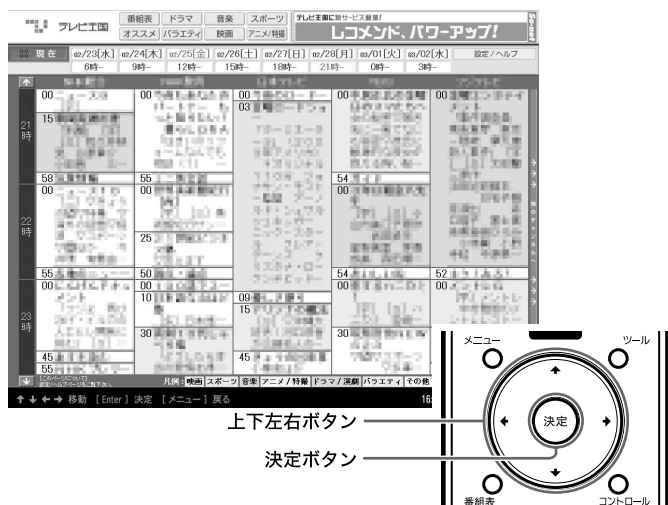
2　見たいチャンネルを選ぶ。

録画予約する

テレビ番組の録画予約はインターネット電子番組表から行います。わずか3ステップで予約が完了します。

1 リモコンの番組表ボタンを押す。

Do VAIOが起動し、インターネット電子番組表が表示されます。

！ご注意

- この操作を行うときは、インターネットに接続している必要があります。
- この操作を行うためには、画面の解像度を1024 × 768 以上にしている必要があります。

2 録画したい番組をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

「録画の設定」画面が表示されます。

3 ［録画予約を追加］をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

録画予約が設定されます。

！ご注意
録画予約を設定しても、予約録画開始時に本機の電源が切れていると予約録画は行われません。予約録画開始前は本機の電源を切らず、スタンバイモードまたは休止状態にしてください。

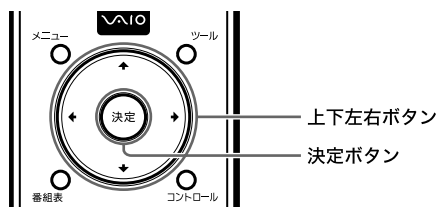
録画したテレビ番組を見る

録画したテレビ番組の再生もリモコンから操作できます。サムネイルを使って一覧表示されるので目的のテレビ番組を簡単に見つけられます。

1 Do VAIOのメニューを表示する。

Do VAIOが起動しているときはリモコンのテレビボタンを押してからメニューボタンを押して、起動していないときはVAIOボタンを押して表示してください。

2 [テレビ・ビデオ]をリモコンの上下ボタンで選んで右ボタンを押し、次に[すべてのビデオ]を上下ボタンで選んで右ボタンを押す。

3 見たいテレビ番組をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

テレビ番組の再生が始まります。

ヒント
録画したテレビ番組をすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
先頭から再生したい場合は、見たい番組を選んだあとに[ツール]ボタンを押して表示されるメニューから[先頭から再生]を選んでください。

ミュージック

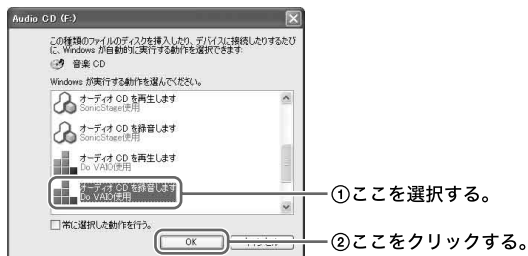
音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。自分だけの音楽ライブラリができあがります。

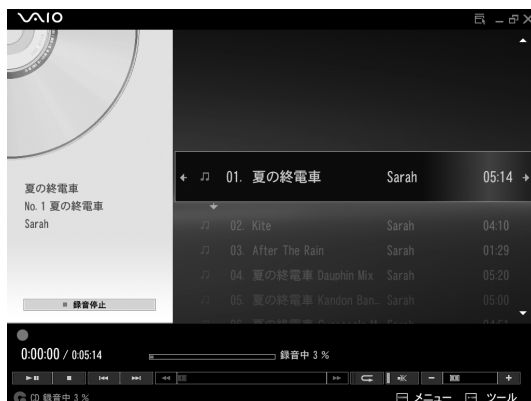
!ご注意
音楽CDの曲情報の取得にはCDDBサービスを利用しています。CDDBサービスの利用にはインターネット接続環境が必要です。インターネット接続については、「インターネットを始める」をご覧ください。

1 取り込みたい音楽CDを、本機のドライブに入れる。

音楽CDを取り込むソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

2 [オーディオCDを録音します Do VAIO使用]を選んで[OK]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
コンピュータの設定によっては、音楽CDを入れてもソフトウェアを選ぶ画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を取り込む]の順にクリックする。)

3 音楽の取り込みが自動的に始まります。

ヒント
- はじめてCDDBサービスを利用するときは、CDDBへの登録確認画面が表示されます。画面の指示に従って、CDDBへの登録を行ってください。
- 以前曲を取り込んだことがある音楽CDをドライブに入れている場合、録音を開始してよいかどうかを確認するメッセージ画面が表示されます。

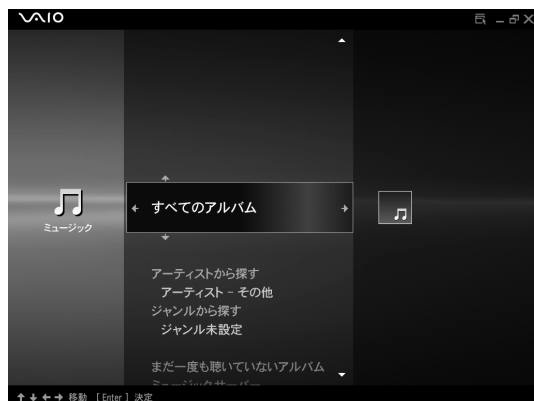
音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。音楽CDを交換する手間はありません。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
音楽を聞くときにリモコンで操作する方法(テレビモデル)や、音楽CDを再生する方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を聞く]の順にクリックする。)

2 [ミュージック]→[すべてのアルバム]の順にクリックする。

3 再生したいアルバムをクリックする。

音楽コンテンツの再生が始まります。

音楽CDを作る

音楽CDの作成はSonicStageで行います。曲を選んでお好みの音楽CDを作れます。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックする。**

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 **データの書き込まれていないCD-R／CD-RWを、本機のドライブに入れる。**

3 **[音楽を転送する]にポインタを合わせ、[音楽CDの作成]をクリックする。**

4　CDにしたい曲を選択し、 → をクリックする。

①曲を選択する。　②ここをクリックする。

「音楽CD」に曲が登録されます。

5　CDにしたい曲をすべて登録したら、◎をクリックする。

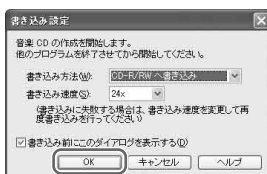
ここをクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6　[OK]をクリックする。

ここをクリックする。

書き込みが始まります。

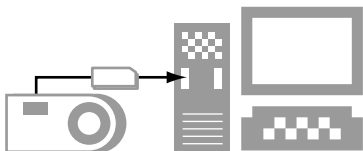
ヒント

- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

フォト

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。スライドショーやフォトアルバム作成で楽しめます。

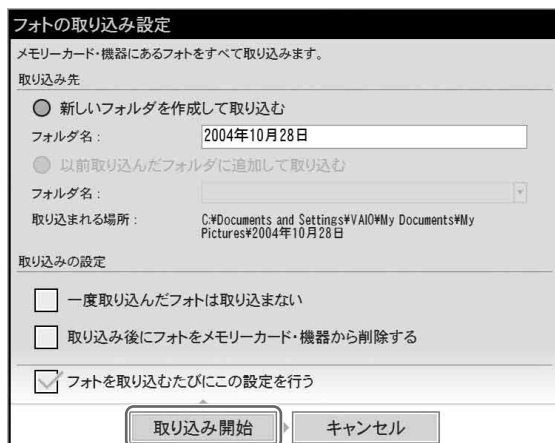
!ご注意
写真を取り込むには、Do VAIOで楽しむコンテンツを保存するためのフォルダとして「マイ ピクチャ」フォルダが登録されている必要があります。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- ご利用可能なメモリーカードの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- デジタルスチルカメラやメモリーカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。

2 [写真を取り込みます Do VAIO使用]をクリックし、[OK]をクリックする。

ヒント
コンピュータの設定によっては、メモリーカードを入れてもWindowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。)

3　[取り込み開始]をクリックする。

写真の取り込みが始まります。取り込みが終わると、取り込み結果を知らせるメッセージ画面が表示されます。

ヒント
写真の取り込み先や方法を設定することができます。
設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

4　[閉じる]をクリックする。

ヒント
「取り込みの完了」画面で[スライドショー]をクリックすると、取り込んだフォトのスライドショーが始まります。

写真を見る

取り込んだ写真をDo VAIOで見ることができます。簡単な操作でスライドショーを楽しめます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO］をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
写真を見るときにリモコンで操作する方法（テレビモデル）については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［Do VAIOで楽しむ］→［写真］→［写真を見る］の順にクリックする。）

2 ［フォト］→［フォルダ］の順にクリックする。

ヒント
手順2で［フォルダ］ではなく、［年］、［月］、［日］、［時間］、［曜日］を選ぶと、選んだ方法で並び替えられたデジタル写真がスライドショーで表示されるので、その中からデジタル写真を選ぶことができます。

3 見たいデジタル写真があるフォルダをクリックする。

スライドショーが開始されます。

フォトアルバムを作る

思い出の写真をフォトアルバムとしてまとめられます。作成はPictureGear Studioで行います。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[PictureGear Studio]→[ツール]の順にポインタを合わせ、[フォトアルバム]をクリックする。**

「フォトアルバム」画面が表示されます。

2 **[アルバムを作る]をクリックする。**

ここをクリックする。

「アルバムをつくる」画面が表示されます。

3 **[ガイドに従って作成]をクリックする。**

ここをクリックする。

「写真を選ぶ」画面が表示されます。

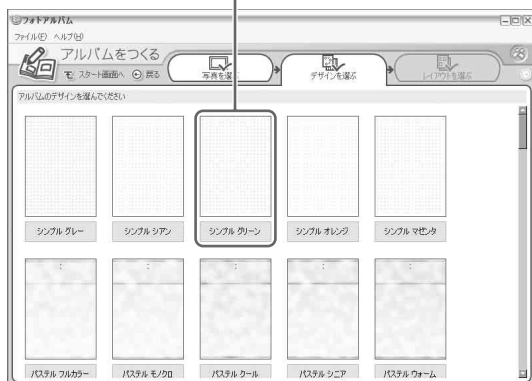
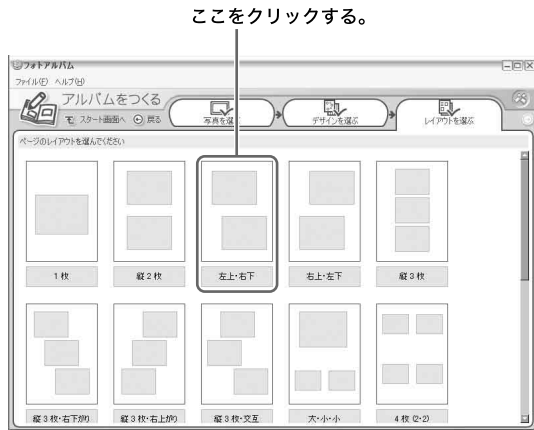
4 アルバムにしたいカテゴリをクリックする。

「デザインを選ぶ」画面が表示されます。

5 アルバムのデザインを選んでクリックする。

「レイアウトを選ぶ」画面が表示されます。

6　アルバムのデザインを選んでクリックする。

ここをクリックする。

フォトアルバムが完成します。

ヒント

編集機能を使用して、文字を入力したり、スタンプマーク／図形／カレンダーを貼り付けることができます。

また、完成したフォトアルバムは、保存／印刷／出力することもできます。

操作方法については「PictureGear Studio」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

DVD

DVDを見る

DVDの再生もDo VAIOで行えます。Do VAIOを起動してDVDをセットすればすぐに再生が始まります。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
DVDを見るときにリモコンで操作する方法(テレビモデル)については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[映像]→[Do VAIOでDVDを見る]の順にクリックする。)

2 再生したいDVDを、本機のドライブに入れる。

DVDの再生が始まります。

ご注意
ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、[CD・DVD]→[DVD]の順にクリックし、DVDを入れたドライブ名をクリックしてください。

ヒント
DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、マウスを動かすと表示される画面下部の操作メニューから[ツール]をクリックし、表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックしてください。先頭から再生されます。

録画したテレビ番組をDVDにする(テレビモデル)

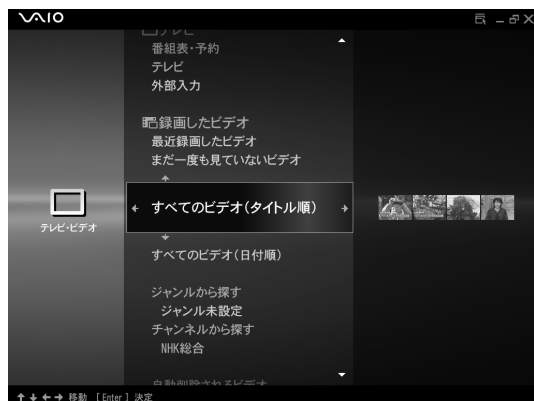
バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。直感的な操作で簡単にDVDを作れます。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。**

Do VAIOが起動します。

ヒント

DVDへの記録方法をあらかじめ設定することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ/ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。)

2 **[テレビ・ビデオ]→[すべてのビデオ]の順にクリックする。**

録画したビデオの一覧が表示されます。

ヒント

[すべてのビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に1度も見たことがないテレビ番組から選んでDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3 DVDに書き込みたいテレビ番組を選択し、▸をクリックする。

ここをクリックする。

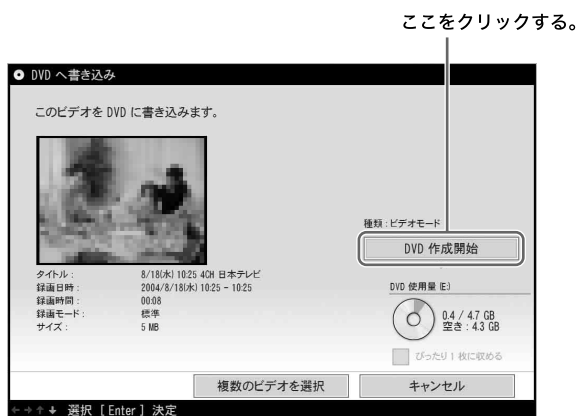
録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4 [DVDへ書き込む]をクリックする。

5 データの書き込まれていない記録用DVDを、本機のドライブに入れる。

「DVD へ書き込み」画面が表示されます。

ご注意
ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。

6 [DVD作成開始]をクリックする。

ここをクリックする。

「DVD の作成」画面が表示されます。

ヒント
他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択]をクリックして「複数のビデオをDVD へ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。）

7 [作成開始]をクリックする。

ここをクリックする。

DVD の作成

このビデオを DVD に書き込みます

種類：ビデオモード
書き込み時間の目安：0 時間 29 分

作成開始

記録済みの DVD-RW/+RW ディスクの場合、
既に記録されているビデオはすべて消去されます。

DVD 使用量 (E:)
0.4 / 4.7 GB
空き：4.3 GB

前へ　キャンセル

選択 [Enter] 決定

選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。
書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

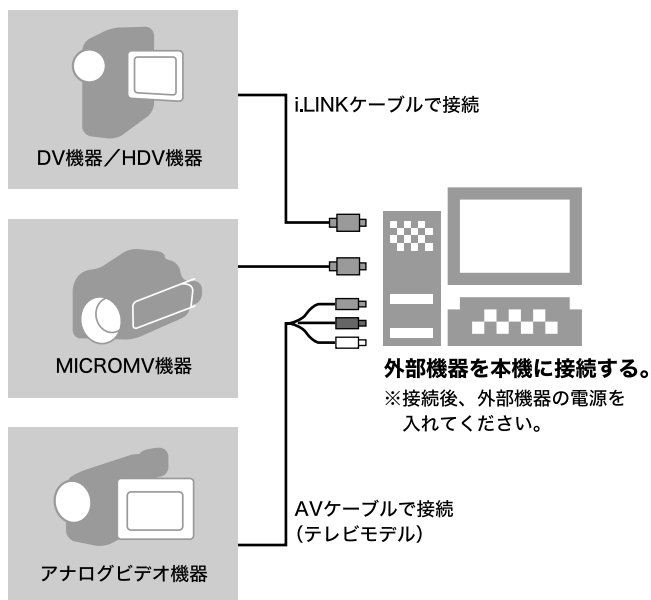
8 同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときは[もう1枚作成]を選択し、DVDの作成を終了するときは[終了]を選択する。

[もう1枚作成]を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。[終了]を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

撮影した素材からDVDを作る

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影した思い出の映像や、アナログビデオテープに録りためた映像は、Click to DVDでオリジナルDVDにすることができます。

1 本機に外部機器を接続し、外部機器の電源を入れる。

ヒント

- アナログビデオ機器の接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください（テレビモデル）。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→[接続／準備]→[ビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）
- DVD-Videoフォーマット、DVD+VR･DVD-VRフォーマットで記録されたDVDからもデータを読み込むことができます。
- 外部機器を接続したとき、「デジタル ビデオ デバイス」画面が表示された場合は、[撮ったビデオでDVD作成！]をクリックし、[OK]をクリックします。「Click to DVD」画面が表示されるので手順3に進んでください。

! ご注意

市販のDVDなど、コピー制御信号を含むDVDから読み込むことはできません。

2 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Click to DVD]の順にポインタを合わせ、[Click to DVD]をクリックする。

「Click to DVD」画面が表示されます。

3 画面左下の[ビデオモード]タブをクリックして、基本的な設定を行う。

ヒント

ここでは、「DVDおまかせ作成」のビデオモードでDVDに書き込むときの手順を説明します。その他の方法については、「Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れ、[作成開始]をクリックする。

DVDの作成が始まります。

!ご注意

- ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- DVD-RAMへの書き込みは、VRモードでDVDおまかせ作成をするときのみ可能です。

困ったときは／
サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 パソコンが起動しないときは『取扱説明書（本書）』をご覧ください

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（102ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」（102ページ）をご覧ください。

2 パソコンが動作するときは『バイオ電子マニュアル』をご覧ください

パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。
「バイオ電子マニュアル」が起動したら、[Q&Aで調べる]をクリックして、トラブルの内容に合った項目をご覧ください。
また、「バイオ電子マニュアル」には本機の使いかたやご使用上のご注意などの情報も記載されています。詳しくは、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（122ページ）をご覧ください。

ヒント

ソフトウェアの使いかたについて

ソフトウェアの使いかたや疑問の解消には、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。また、Windowsに関する使いかたや疑問の解消については、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」については、「ヘルプとサポートセンターを見る」（123ページ）をご覧ください。

3 最新の情報は『VAIOカスタマーリンクホームページ』でご確認ください

VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンクホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（123ページ）をご覧ください。

4 いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください

VAIOカスタマーリンク[*1]
（0466）30-3000
（平日：10時～21時、土、日、祝日：10時～17時）

バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる」（132ページ）をご覧ください。

本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（143ページ）に掲載されているそれぞれのソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

*1 お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[ハードウェア診断ツール]の順にポインタを合わせ、[ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。
これ以外にも、「バイオ電子マニュアル」には、さらに多くのQ&Aが記載されています。あわせてご覧ください。（[Q&Aで調べる]をクリックする。）

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプ（緑色）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」（46ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」（36ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプ（緑色）は点灯するが、画面に何も表示されない

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。

Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A「スタート」メニューの[終了オプション]を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[電源を切る]をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。

詳しくは、「画面が固まって動かない」(106ページ)をご覧ください。

A「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。

② それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください(171ページ)。

A「CMOS Checksum Bad」と表示される場合、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。

バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

A「CMOS Checksum Error」と表示される場合、BIOSの設定内容が壊れている可能性があります。

次の手順でBIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

② F5キーを押す。
「Load Setup Defaults」というメッセージが表示されます。

③ ←または→キーを押して[Ok]を選び、Enterキーを押す。
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

④ F10(Save and Exit)キーを押す。
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

⑤ ←または→キーを押して[Ok]を選び、Enterキーを押す。
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

Q　「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された

A　本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q　ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A　次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／PgUpキーまたは↓／PgDnキーを押して[セーフモード]を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、[スタート]ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順にクリックして表示される画面の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。

④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの[プロパティ]をクリックしてプロパティ画面を表示し、[ドライバ]タブをクリックする。

⑤ [ドライバのロールバック]をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q　Windowsの動作状況が不安定になる

A　使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。

再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプが消灯せず、オレンジ色に点灯（スタンバイモード時）した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 休止状態やスタンバイに移行できない

A Do VAIOや、SoundFLOWの起動中は、「電源オプションのプロパティ」画面の「電源設定」で設定したタイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。

録画中や予約録画開始数分前（テレビモデルのみ）、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

Q SoundFLOWのスリープタイマーでスタンバイモードにならない

A キーボードを開くとスリープタイマーが解除されます。

A 以下の場合、スリープタイマーでスタンバイモードにならないことがあります。

- Do VAIOで録画中またはDo VAIO録画準備中（録画数分前）
- ウェイクアップタイマー設定時間の数分前から設定時刻までの間

Q キーボードを閉じたときの状態を変更する

A 初期設定では、キーボードを閉じると、SoundFLOWが起動します。キーボードを閉じたときにスタンバイモードにしたい場合、または何も起動させない場合は、次の手順に従います。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［バイオの設定］をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。

② ［キーボード・マウス］をダブルクリックする。

③ ［キーボードの開閉設定］をダブルクリックする。
「KeyboardClosureSetting」画面が表示されます。

④ キーボードを閉じたときの動作を設定する。

- スタンバイモードにする場合は、［システムスタンバイにします］の ◯ をクリックして ◉ にする。
- 何も起動させない場合は、［何も行いません］の ◯ をクリックして ◉ にする。

⑤ ［OK］をクリックする。

パスワード

Q 「Windows XP」のユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が他にいない場合、「Administrator（ユーザー名）」のパスワードを設定していなければ、WindowsをSafeモードで起動して「Administrator（ユーザー名）」でログオンすれば、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更できます。

画面／ディスプレイ

Q　画面に何も表示されない

A　次の点をお確かめください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは、「接続する」（36ページ）をご覧ください。
- 本機の電源スイッチが入っているか確認してください。

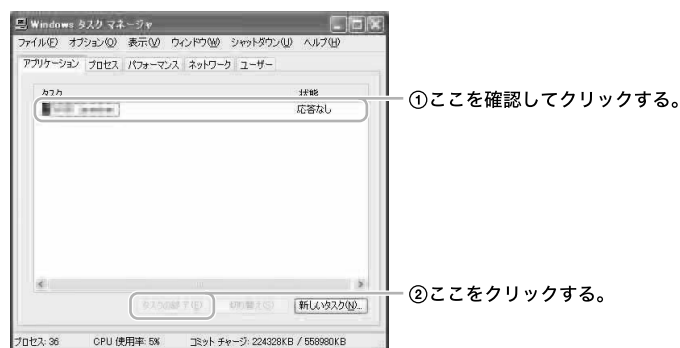
Q　画面の色がきれいに表示されない

A　いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

［スタート］ボタンをクリックし、［終了オプション］→［電源を切る］の順にクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q　画面が固まって動かない

A　次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押す。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windowsタスクマネージャ」画面の［シャットダウン］メニューから［コンピュータの電源を切る］をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプ（オレンジ色）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q　画面が暗い

A　キーボードの☼（明るさ調節）ボタンで調節してください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面に輝点・滅点（黒点）がある

A **液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。**

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です。）また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[できるWindows for VAIO]をクリックする。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A **数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上の「Num Lock」ランプが消灯していないかを確認してください。**

消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A **入力モードを確認してください。**

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A **「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。**

「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。

Shiftキー＋Caps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

マウス

Q マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、ポインタを動かせない

A マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻してください。

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A 本機とマウスが正しく接続されているか確認してください(38ページ)。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① [Windows] キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーまたは↓キーを押して[終了オプション]を選んでEnterキーを押す。

② ↑キーまたは↓キーを押して[電源を切る]を選び、Enterキーを押す。

③ 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。

CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」(106ページ)をご覧ください。

Q マウスでスクロールできない

A ソフトウェアがスクロール機能に対応しているか確認してください。

スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

A スクロールしたい画面を前に出してください。

画面のどこかをクリックするか、AltキーとTabキーを押して目的の画面を前面に出してください。

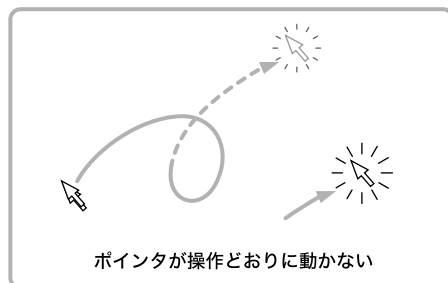
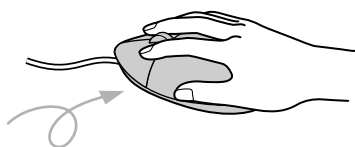
Q マウスを動かしてもカーソルが動かない

A オートスクロール設定になっている場合は、ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

Q ポインタが飛んだり、動きが遅い

A 操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない印刷用紙や、オプティカル（光学式）マウス用マウスパッドなどの上でマウス操作してください。

次の表面では、操作どおりにマウスポインタが動かない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢のあるマウスパッドや机など

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります（158ページ）。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。

「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（158ページ）。

Q ハードディスクから起動できない

A 次の点をお確かめください。

- フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。
入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- ドライブにディスクが入っていないか確認する。
入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- それでも起動できない場合は、本機をリカバリする必要があります（158ページ）。

Q　ハードディスクの空き容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［マイコンピュータ］をクリックする。

② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。

③ ［プロパティ］をクリックする。

ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q　ハードディスクの空き容量が少なくなった

A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスククリーンアップ］をクリックする。
「ドライブの選択」画面が表示されます。

② ［ローカルディスク（C:）］または［ローカルディスク（D:）］を選択して、［OK］をクリックする。

③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。

④ ［OK］をクリックする。
「これらの操作を実行しますか？」というメッセージが表示されます。

⑤ ［はい］をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

Q　ハードディスクから異音がする

A　OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップ（110ページ）を行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスクデフラグ］をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A　ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

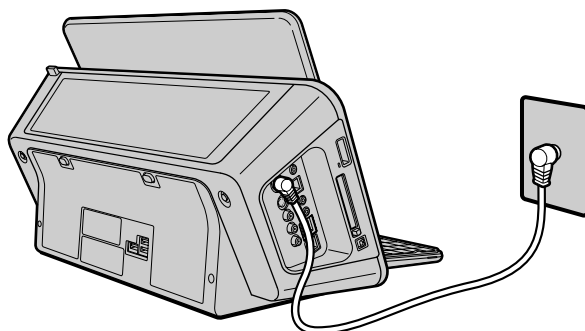
テレビ再生／録画（テレビモデル）

Q　Do VAIOが起動できない

A　「Do VAIOや「DVgate Plus」ソフトウェアなどの動画を扱うソフトウェアの起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない」をご覧ください（118ページ）。

Q　テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A　アンテナ接続ケーブルが本機の╥（VHF／UHFアンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順（42ページ）をご覧ください。

A　ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。

一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順（42ページ）をご覧ください。

A Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。

次の手順に従って設定を変更してください。

！ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

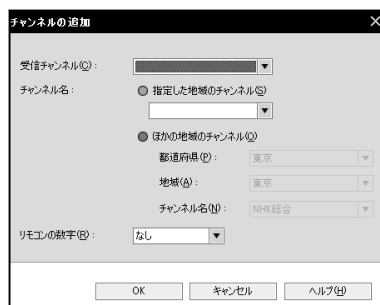
一部のチャンネルが映らない場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO 設定］をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、［削除］をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、［はい］をクリックする。
選択したチャンネルが一覧から削除されます。

⑤ ［追加］をクリックする。
「チャンネルの追加」画面が表示されます。

⑥ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、［OK］をクリックする。

ヒント
チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。もしご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合には「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

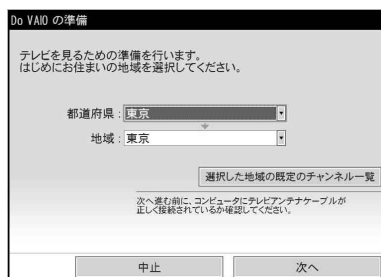
［OK］をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3〜6を繰り返し、設定してください。

すべてのチャンネルが映らない場合

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

⑥ [次へ]をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
[検出に失敗したチャンネルを削除する]を □ にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は ☑ のままにしておくことをおすすめします。

⑦ [検出に失敗したチャンネルを削除する]が ☑ になっていることを確認して[完了]をクリックする。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
困ったときは／サービス・サポート
増設／リカバリ
注意事項

Q Do VAIOでテレビの音声が出力されない

A 「Do VAIO」画面の をクリックし、消音設定を解除してください。

A ボリュームコントロールを確認してください。

次の手順で操作してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② ［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から、［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。
「ボリューム コントロール」画面が表示されます。

④ 「ボリューム コントロール」画面で、［ボリューム コントロール］、［補助入力］のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。

A USBスピーカーを使用していないか確認してください。

USBスピーカーでは、Do VAIOのテレビ視聴時の音声や外部入力からの映像を視聴しているときの音声は出力されません。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A Do VAIOでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高（32ビット）に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［画面／ディスプレイ］→「設定」の［ディスプレイの設定を変更する］の順にクリックする。）

Q 番組を予約録画できない

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。

スタンバイモード、または休止状態を選択して待機させてください。

Q 最初の部分が録画されていない

A 録画が始まるまでに数秒かかることがあります。

実際に録画するときは、数秒早く （録画）をクリックしてください。

Q エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スタンバイ、休止はできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。

録画終了後に再び操作してください。

Q　録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない

A　著作権保護のための信号が含まれている映像を録画しようとすると、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。

放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

A　放送局側で「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、Do VAIOの設定を変更することで録画が可能になります。

詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

Q　視聴時と再生時の音量が違う

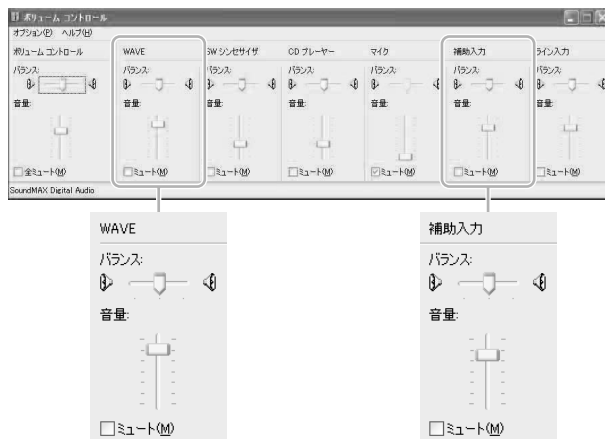
A　ボリュームコントロールの設定を変更すると、テレビの視聴時や再生時の音量が変わる場合があります。

以下の手順でお買い上げ時の音量設定に戻してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② ［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。
「ボリューム コントロール」画面が表示されます。

④ 「ボリューム コントロール」画面で「WAVE」、「補助入力」の音量スライダと消音設定を図のように調整する。

Q　録画した映像がコマ落ちしている、または正常に再生できない

A　録画中の負荷が高くなりすぎるとコマ落ちすることがあります。

次のことをすると負荷を下げることができます。

- 高画質モードでの追いかけ再生（スリップ再生）や、録画中に他のビデオの再生をしない。
- 録画中は、他のソフトウェアを起動したり使用しない。

A 放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれている映像は、本機で録画できません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

なお、放送局側で「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、Do VAIOの設定を変更することで録画が可能になります。詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

A 録画保存先のフォルダ(または録画保存先を含むドライブ)を圧縮する設定にしていると、録画が正常に行われなかったり録画した映像がコマ落ちしていることがあります。

次の手順でフォルダ(またはドライブ)の設定を変更してください。

ヒント

- 手順では[ローカル ディスク(D:)]の中の「VAIO Entertainment」フォルダの設定を変更していますが、お使いの機種によっては保存先のフォルダが異なります。Do VAIOの「設定」画面で設定されているドライブ(またはフォルダ)を指定してください。
- Do VAIOの「設定」画面で保存先のドライブを変更した場合は、変更先のドライブやフォルダに対して下記の操作を行ってください。

フォルダの設定変更方法

① [スタート]ボタンをクリックして[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク(D:)]をダブルクリックする。

③ 「VAIO Entertainment」フォルダを右クリックし[プロパティ]をクリックする。

④ 「VAIO Entertainmentプロパティ」画面の[全般]タブで[詳細設定]をクリックする。

⑤ [圧縮属性または暗号化属性]の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]の ☑ をクリックして ☐ にし、[OK]をクリックする。

ドライブの設定変更方法

① [スタート]ボタンをクリックして[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク(D:)]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

③ 「ローカル ディスク(D:)のプロパティ」画面の[全般]タブで、[ドライブを圧縮してディスク領域を空ける]の ☑ をクリックして ☐ にし、[OK]をクリックする。

A 「Norton Internet Security」ソフトウェアをお使いの場合は、ビデオの録画が正常に行われない場合があります。

正常に録画を行うためには、「Norton Internet Security」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

次の手順で操作してください。

ヒント

- 手順では[ローカル ディスク(D:)]の中の「VAIO Entertainment」フォルダの設定を変更していますが、お使いの機種によっては保存先のフォルダが異なります。Do VAIOの「設定」画面で設定されているドライブ(またはフォルダ)を指定してください。
- Do VAIOの「設定」画面で保存先のドライブを変更した場合は、変更先のドライブやフォルダに対して下記の操作を行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ、[Norton Internet Security]をクリックする。
「Norton Internet Security」ソフトウェアが起動します。

② 「Norton Internet Security」画面上部の (オプション)をクリックし、[Norton AntiVirus]を選択する。
「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。

③ 「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の[Auto-Protect]をクリックし、[除外]をクリックする。
「Norton AntiVirus オプション」画面右側に、「除外リスト」が表示されます。

④ 「除外リスト」の「除外する項目」右側の[新規]をクリックする。
除外する項目を追加する画面が表示されます。

⑤ 「サブフォルダも含める」が になっているのを確認し、 をクリックする。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

⑥ [ローカルディスク(D:)]→[VAIO Entertainment]の順にダブルクリックする。

⑦ [OK]をクリックする。
手順4で表示された画面に「D:¥VAIO Entertainment」と表示されます。

⑧ [OK]をクリックする。

⑨ 「除外する項目」に「D:¥VAIO Entertainment」が追加されていることを確認し、[OK]をクリックする。

!ご注意

この設定を行うと、Do VAIOで録画したビデオファイルはウイルスチェックがされなくなりますので、これらのファイルのウイルスチェックを定期的に手動で行ってください。

この設定は、お客様の責任において行ってください。

Q 予約録画時に画面が表示される

A 録画が開始される前の場合は録画予約後、Do VAIOを終了してからキーボードを閉じ、スタンバイモード(49ページ)にするかSoundFLOWの操作画面でディスプレイのバックライトをオフにしてください。

予約録画開始時に録画中の画面が表示されないようになるので、就寝時などに利用すると便利です。

A 録画中の場合、キーボードを閉じてディスプレイのバックライトをオフにしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[SoundFLOWで楽しむ]→[SoundFLOWの使いかた]→[SoundFLOWをマウスで操作/設定する]の順にクリックする。)

外部機器からの録画

Q　アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（テレビモデル）

A Do VAIOで録画できます。

Do VAIOでの録画方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

また、ビデオデッキとの接続を確認してください。ビデオデッキの接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→「接続／準備」の[ビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）

Q　DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。

「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[映像]→「DVDを作る」の[撮影した素材からDVDを作る]の順にクリックする。）

Q　Do VAIOや「DVgate Plus」ソフトウェアなどの動画を扱うソフトウェアの起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない

A ディスプレイの設定を変更している場合は、設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→「設定」の[ディスプレイの設定を変更する]の順にクリックする。）

A 次の手順に従って、ハードウェアアクセラレータが「最大」になっているか確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② [デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順にクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

③ [設定]タブをクリックして[詳細設定]をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

④ [トラブルシューティング]タブをクリックする。
「トラブルシューティング」画面が表示されます。

⑤ 「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かし、最大に設定する。

⑥［OK］をクリックする。

⑦「画面のプロパティ」画面で［OK］をクリックする。

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（テレビモデル）

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。

ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。

本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面（青い画面など）、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない（テレビモデル）

A Do VAIOでチャンネル設定を行っていない場合は、チャンネル設定を行ってください（58ページ）。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 103ページをご覧ください。

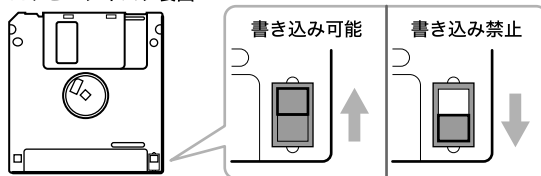
フロッピーディスクのエラーメッセージ

Q フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

A 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクの容量の空きがありません。

容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直してください。

A 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示されたときは、タブを動かして書き込み可能にしてください。

フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

その他のエラーメッセージ

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。

次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら［OK］をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して［OK］をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない

A 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Adobe Reader 7.0］をクリックする。

② 「Adobe Reader-使用許諾契約書」画面が表示されたら、「日本語」を選択し、［同意する］をクリックする。

③ 「Adobe Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の ☒ をクリックする。

④ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。

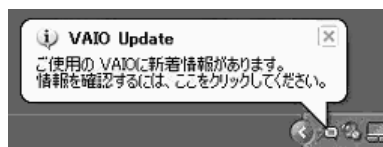
「VAIO Update」を利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

ヒント
VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

! ご注意
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示されたときに当バルーンをクリックする、もしくは[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO Update 2]→[VAIO Updateの設定]をクリックすることにより設定できます。

! ご注意
ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号、OSおよびインストールソフトウェアなどの個人情報をサーバーに送信しません。お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためにあり、ここから個人情報への結びつけは行いません。

❑ VAIO Updateバルーン表示画面

❑ VAIO Update画面（上記のバルーン表示をクリックすると表示されます）

①重要なお知らせ

②アップデートプログラム

①重要なお知らせ
セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

②アップデートプログラム
お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、[アップデート開始]をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント
VAIO Updateで表示される内容は、お客様がご使用のバイオに必要な情報が表示されています。
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に ! のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（100ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

❑ 画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。
② 質問文を入力して情報を探したり、検索条件の設定を行うことができます。
③ 「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。
④ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

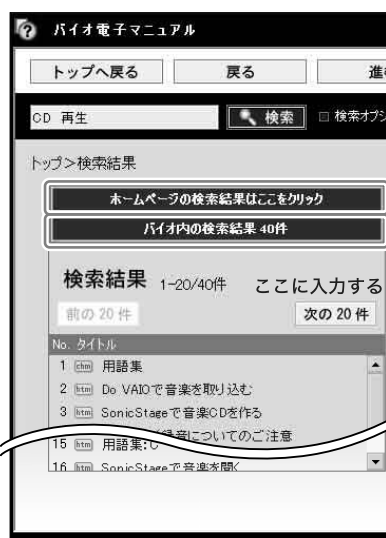
「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にあるバイオ電子マニュアルやソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

バイオ電子マニュアル内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：「**CD 再生**」

2 [検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

［次の20件］をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
［前の20件］をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンクホームページの文書は別画面で表示されます。

ヘルプとサポートセンターを見る

❑ ヘルプとサポートセンターを見るには

［スタート］ボタンをクリックして［ヘルプとサポート］をクリックすると「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、バイオ電子マニュアルの［ソフト紹介／問い合わせ先］をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは
ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

！ご注意
本書内の「サービス・サポート」の内容は、2005年10月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、次の2とおりの方法があります。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する。

2 ［お気に入り］をクリックして［3.VAIOサポートページ］にポインタを合わせ、［1.サポート（サービス・サポート情報）］をクリックする。

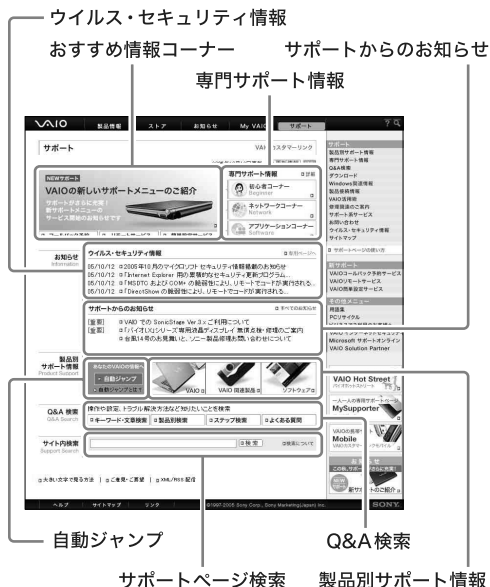
VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 デスクトップ画面の[VAIOナビ]アイコンをダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンクホームページを活用する

製品別サポート情報
製品別にお知らせやダウンロードなどの最新サポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」をご利用いただけます。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報も紹介しています。
ご所有の製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

Q&A検索
Q&A検索では5つの検索機能(キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問)を使い、VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問(操作や設定、トラブル解決方法など知りたいこと)に対する回答を検索することができます。

ウイルス・セキュリティ情報
バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします(専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます)。

専門サポート情報
VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携して、サポート情報を提供する専門サポートコーナーです。「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」の3つの専門分野に特化した情報をご提供しています。

サポートからのお知らせ
お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています(すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます)。

おすすめ情報コーナー
VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

自動ジャンプ
「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

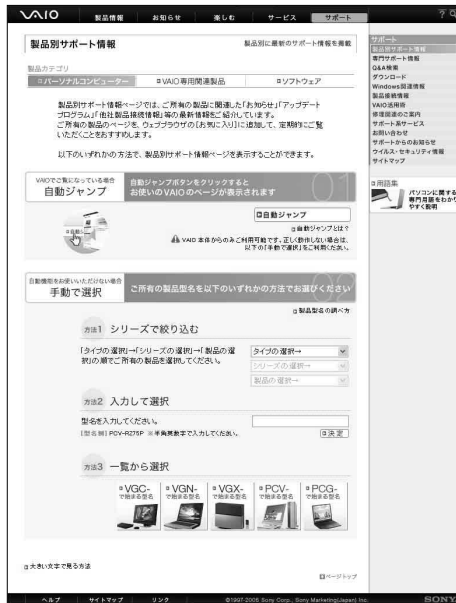
サポートページ検索
キーワードによるVAIOカスタマーリンクホームページのサイト内検索ができます(お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます)。

用語集
基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

❑ 調べかた
頭文字から探す
①調べたい用語の頭文字をクリックする。
②右上のリストから用語をクリックする。

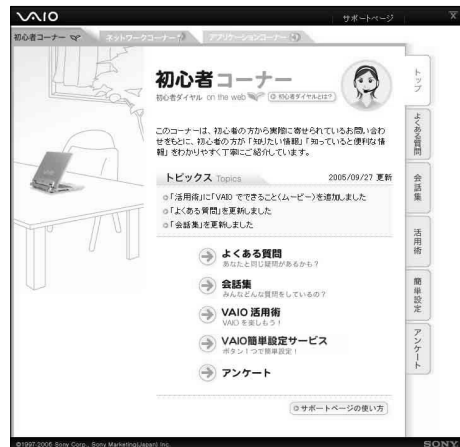
キーワードで探す
調べたい用語を入力して検索します。

製品別サポート情報

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

専門サポート情報

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、「初心者コーナー」、「ネットワークコーナー」、「アプリケーションコーナー」という3つの専門分野に特化したサポート情報をわかりやすくご紹介しています。

初心者コーナー

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

ネットワークコーナー

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「ワイヤレスLANを接続するにはどうしたらいいの？」、「ワイヤレスがつながらない！」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

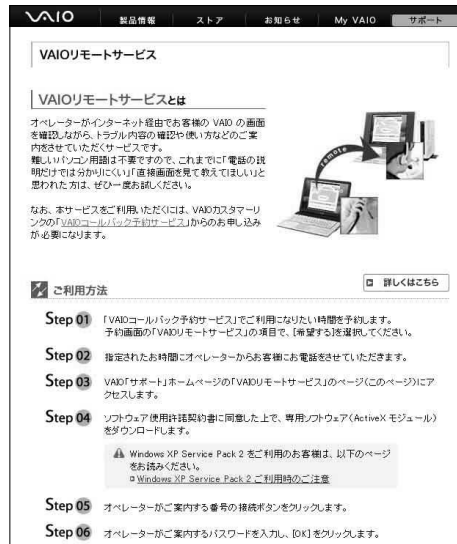
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

VAIOリモートサービス

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどのご案内をさせていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけでは分かりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ1度お試しください。

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約します。

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

3 VAIOカスタマーリンクホームページの「VAIOリモートサービス」のページにアクセスします。

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードします。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックします。

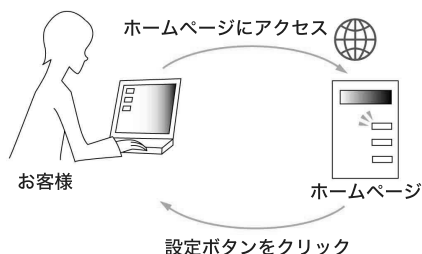
6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

！ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（129ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

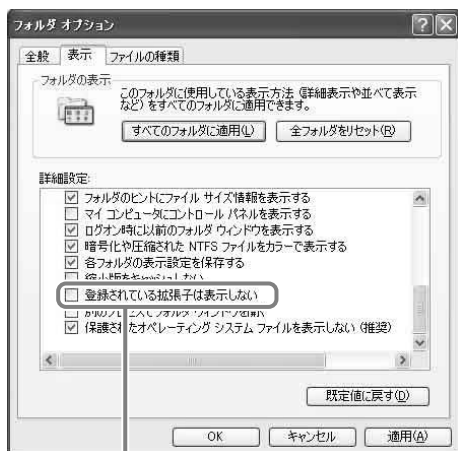
VAIO簡単設定サービス

複雑な設定変更もホームページ上の設定ボタンをクリックするだけでOK！
変更手順を表示しながら、設定変更を行い、お客様を問題解決までナビゲートします。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「VAIO簡単設定サービス」のページにアクセスします。

2 設定したい項目の[簡単設定をはじめる]ボタンをクリックします。

ここでは、例として「ファイルの拡張子を表示する」設定を実行します。

3 「VAIO簡単設定サービス」のモジュールが自動的にダウンロードされ、設定の準備が行われます。

4 **[続ける]ボタンをクリックして設定を開始すると、変更手順を表示しながら自動的に設定変更が実行されます。**

自動的にチェックがはずれる

5 **「VAIO簡単設定サービス」が完了すると、お客様のバイオの設定が変更されています。**

この例では、ファイルの拡張子が表示されるようになりました。

ファイルの拡張子が表示されている

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- 本サービスをご利用の際は、ほかのアプリケーションをすべて終了させてください。

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。「ウイルス･セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」の「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理の進み具合もご確認いただけます。詳しい操作方法については、「「修理/お預かり品状況確認」について」(135ページ)をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

(対応端末：i-mode･EZweb･Vodafone live!)

また、バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

マイサポーター

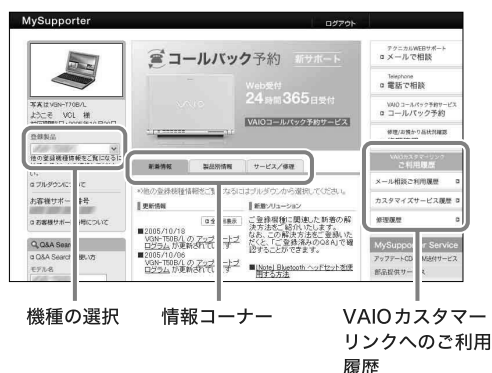
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

* マイサポーターの内容は予告なしに変更する場合があります。

ヒント

- マイサポーターをご利用いただくには、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です(My Sony IDとMy Sony IDパスワードを入力してマイサポーターへログインし、ご利用いただくしくみです)。
- VAIOカスタマー登録については http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/をご覧ください。

❑ マイサポーターでできること

機種の選択　　情報コーナー　　VAIOカスタマーリンクへのご利用履歴

機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内します。
情報コーナーには「新着情報」、「製品別情報」、「サービス／修理」があります。

- **新着情報**
  更新情報や新着のソリューション（問題解決のQ＆A）をお知らせします。
- **製品別情報**
  ご所有のバイオが対象となる「お知らせ」や「アップデートプログラム」をご案内します。
- **サービス／修理**
  バイオの付属品、リカバリディスク、各種サポートディスクを有償で送付するサービス、または修理のご依頼方法などをご案内します。

ヒント

- お買い上げの機種またはお客様によっては表示されるメニューが異なります。
- お知らせの内容は登録機種に対応して表示されます。

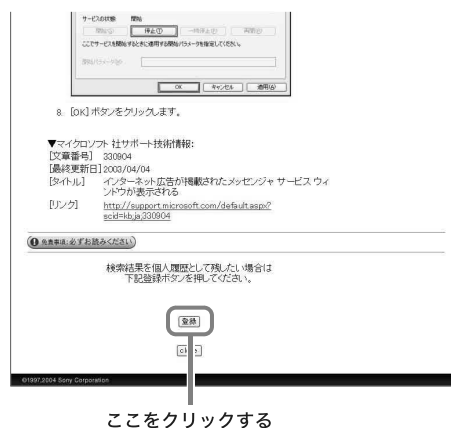
ご利用履歴の確認

お客様のVAIOカスタマーリンクのご利用履歴（テクニカルWebサポート、修理情報）を確認できます。

- **テクニカルWebサポート　ご利用履歴**
  お客様がWebからお問い合わせされた内容とVAIOカスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます（2001年2月以降の履歴を対象とさせていただきます）。
- VAIO**カスタマイズサービス　ご利用履歴**
  メモリの増設など「VAIOカスタマイズサービス」にお申込みいただいたサービスの履歴を確認できます。
- **修理／関連サービス　ご利用履歴**
  VAIOカスタマーリンクに直接修理をご依頼いただいたバイオ本体の修理履歴を確認できます。

Q&A Search結果の登録

お客様が検索されたQ&Aを履歴に登録すると「ご登録済みのQ&A」に保管されます。解決方法の内容を忘れてしまった場合も、あとからもう1度確認するときに便利です。

ここをクリックする

VAIOコールバック予約サービス

VAIOコールバック予約サービスは、マイサポーター内にある「コールバック予約」ページより、ご予約のお申込みをいただいたご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。
VAIOコールバック予約サービス
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

ヒント

VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日：10：00～21：00

お問い合わせ内容は、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに限らせていただきます。

！ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する

「テクニカルWebサポート」は、バイオ に関する技術的な質問をマイサポーター内から所定のフォームで入力すれば、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント

- このサービスをご利用いただくにはMy Sony IDが必要です。
  カスタマー登録について詳しくは「カスタマー登録する」（56ページ）をご覧ください。
- マイサポーターにログインできない場合は、「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」をご覧ください。

❏「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

ここをクリックする

2 ［テクニカルWEBサポートメールで相談］をクリックする。

ここをクリックする

3 ［新規ご利用申込］をクリックする。

ここをクリックする

4 画面の指示に従って操作する。

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）
https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

！ご注意
投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

[質問する・回答する]

バイオをお使いのうえでわからないことをお客様どうしで質問、回答していただけます。

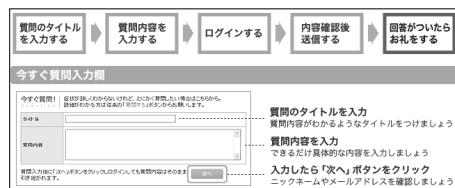
“困っているけれど、うまく説明ができない！”というときは、「今すぐ質問」をご利用ください。最低限の必要情報を入力するだけで、質問することができます。

質問に対して解決策やヒント、アドバイスなどをお持ちのお客様は、ぜひ回答をお寄せください。

今すぐ質問

「今困っていることを、うまく説明ができない！」など、とにかく困っているときは、ここからご質問ください。なお、トラブルの詳しい症状や製品情報など、具体的な内容がわかっている場合はぜひ従来の「質問する」ボタンからお願いします。

！ご注意

- ご利用にはログインが必要です。
- 質問を入力後にログインしても、入力した内容がそのまま表示されます。

＜実際の投稿例＞

！ご注意

最新の詳しい説明ページは、下記URLからご確認ください。

https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」(122ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(123ページ)を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

ヒント
VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

!ご注意
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。
お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

技術的なお問い合わせは(Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合)

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

お問い合わせについて詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(140ページ)をご覧ください。

技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合)

電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて
バイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」(130ページ)(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)を、ぜひご活用ください。

❑ お電話でのお問い合わせについて

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

お問い合わせについて詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(140ページ)をご覧ください。

購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から90日以降は･･･

バイオご購入日から90日を過ぎたあとも電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。
ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、下記の「アドバンストサポートチケット」をご購入のうえ、ご利用ください。

❑ インターネット経由でのお問い合わせについて

バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします(午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます)。

- * 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
- * メールでのお問い合わせは承っておりません。
- * 24時間以内での返信はWindows XP Professional搭載モデルのみのサービスとなっております。

❑「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する技術的なお問い合わせ(使いかたのご説明など)をされる場合のメニューです。
下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ヒント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■チケットの種類と価格(2005年10月現在)

- チケット1枚(単品):2,100円(税抜価格2,000円)
- チケット3枚:5,250円(税抜価格5,000円)
- 1年間有効(回数フリー):10,500円(税抜価格10,000円)

■有効期間
ご購入の当日より1年間

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(141ページ)でお電話でお申込みいただけます。

支払方法

クレジットカード(VISA･MASTER･JCB、1回払いのみ可能)をご利用ください。

ヒント

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。
代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品･キャンセル･交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(141ページ)にお問い合わせください。

ヒント

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択し、本文中央にある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]をクリックします。

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（123ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

点検サービスも行っております
バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

！ご注意
修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

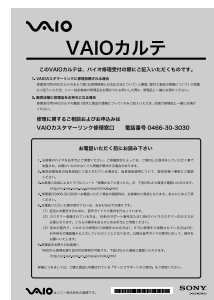
- フロッピーディスクにコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の［バイオの使いかた］をクリックして表示される情報をご覧ください。

！ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/karte.html）またはFAX情報サービス（139ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

3 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

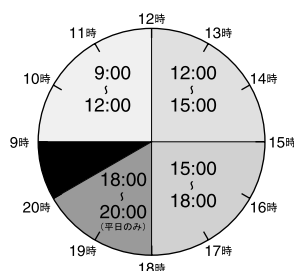
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意のうえ、お電話ください。お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

ヒント
自動音声応答において機種情報などが正確に認識できると、担当のオペレーターにつながります。

4 修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00～12：00
- 12：00～15：00
- 15：00～18：00
- 18：00～20：00（平日のみ）

ご注意
上記は2005年10月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント
- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。（送料はソニー負担です。）

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

ご注意
- 保証期間中でも有償になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります）

「修理／お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理／お預かり品状況確認」およびVAIOカスタマーリンクモバイルの「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。
修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

ご注意
- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンクホームページにある[修理／お預かり品状況確認]をクリックする。

コンピュータから利用する場合
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある［修理／お預かり品状況確認］をクリックします。

携帯電話から利用する場合
VAIOカスタマーリンク モバイル（http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/）に携帯電話からアクセスして、“修理品状況確認”を選択します。

2 確認画面を表示させる。

コンピュータから利用する場合

画面下の[このサービスを利用する]をクリックすると、「修理／お預かり品状況確認」画面が表示されます。

携帯電話から利用する場合

画面中の"確認ページはこちら"をクリックすると、「修理品状況確認」画面が表示されます。

ここをクリックする

3 修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

❑ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

❑ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

❑ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無償修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

なお、VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）の用意もございます。詳しくは「有償サービスの種類」（137ページ）をご覧ください。

その他のサービスとサポート

有償サービスの種類

バイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、バイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。

！ご注意
一部の機種では提供されません。

❑ VAIO延長保証サービス

VAIOご登録カスタマー専用の有料サービスとして「VAIO延長保証サービス」をご用意しております。
通常の故障を3年間保証する「故障対応タイプ」と、通常の故障に加え破損・漏水などの事故を3年間保証する「故障プラス事故対応タイプ」をご用意しております。
また、このサービスは購入日から一定の期間を過ぎますとお申し込みができなくなります。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ 訪問サポートサービス

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし有償で行なうサポートサービスをご用意しております。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス」を受ける」（138ページ）または、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/css/

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、ソニー純正のカスタマイズサービスをご用意しております。
詳しくは「VAIOカスタマイズサービスを利用する」（138ページ）または、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有償で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 「アドバンストサポート」

Windows XP Professional、Windows 2000搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。
詳しくは「技術的なお問い合わせは（Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合）」（132ページ）をご覧ください。

❑ 訪問修理サービス

ソニーのサービスエンジニアが直接お客様のご自宅へお伺いし修理を行うサポートサービスをご用意しております。なお、対象機種はパーソナルコンピューターVGCシリーズのみとなります。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス」を受ける」（138ページ）をご覧ください。

❑ VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）

日本国内でご購入されたパーソナルコンピューターVGNシリーズが、海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIOインターネットセキュリティ

- **「Norton Internet Security online」**
  VAIOを総合的に守りたいあなたに
  ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策です。Live Update機能でウイルスをつねに最新の状態に自動更新し、新種ウイルスにも対応します。ウイルス、ハッカーからの攻撃、個人情報の流出も、これ1つでブロックします。
- **「Norton AntiVirus online」**
  ウイルスチェック対策のみをしたいあなたに
  インターネットや電子メールから不正侵入してくるウイルスやワームを自動チェックし駆除するウイルス対策ソフトです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/vis/

❑ VAIOメール

- 「基本サービス」
  VAIOをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能（Webメール・データ保管など）も充実しています。
- 「メールオプションパック」
  基本サービスに、「メールウイルスチェック」、「メールエクスチェンジ」、「メール転送」、「メールリジェクト」の4つの機能をセットにしたお得なパックです。単体でのお申し込みも可能です。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIO登録カスタマー専用のソフトウェア・ダウンロード販売サイトです。VAIOおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

自宅で「訪問サポートサービス」を受ける

スタッフがお客様のご自宅へ直接お伺いして、各種アップグレード作業やインターネットの接続などを有償で行う「訪問サポートサービス」をご提供しています。
以下のようなサービスがあります(2005年10月現在)。

❑ 訪問設置サポートサービス

- パソコンはじめてパック:
  バイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、動作確認など。
- インターネット設定パック:
  モデム、ウェブブラウザ、電子メールソフトウェアの設定と簡単な操作説明。
- 個人レッスン:
  バイオの使いかたや、楽しみかたをご自宅で学べる。

❑ 訪問修理サービス

- **パーソナルコンピューターVGCシリーズの訪問修理サービス:**
  パーソナルコンピューターVGCシリーズのみ、お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。パーソナルコンピューターVGNシリーズは対象外とさせていただきます。

ヒント
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込み前にVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

訪問サポートサービスの詳細を見るには、次のように操作します。

1 VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある[サポート系サービス]をクリックする。

ここをクリックする

2 [訪問サポートサービス]をクリックする。

「訪問サポートご案内」画面が表示されます。

ホームページでのお申し込み

VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「パソコン訪問サポート」よりお申し込みください。お申し込み手順は、デジホームサポートのホームページ上の記載に従ってください。

VAIOカスタマイズサービスを利用する

ソニーではお買い上げいただいたバイオをより快適にお使いいただくために、以下のようなすべてのサービスに1年間の安心保証がついたソニー純正の各種カスタマイズサービスをご提供しております。
各サービスの対象機種やサービス期間、料金についてはVAIOカスタマイズサービス ホームページでご確認ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ ハードディスクアップグレードサービス

動画ファイルの記憶領域やユーザーデータの保存領域が拡張できます。
一部のパーソナルコンピューターVGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

- データ移行サービス
  現在お使いのハードディスク上の内容をそのまま交換後のハードディスクに移行するサービスです。
- ポータブルi.LINKハードディスクケース 移設サービス
  ハードディスク交換後、元のハードディスクをポータブルi.LINKハードディスクケースに移設してお返しするサービスです。

❑ メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
一部のパーソナルコンピューター VGN/VGC/PCG/PCVシリーズのみのサービスとなります。

❑ キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたします。
英語配列キーボードでプリインストールのOSが使用可能になります。なお、サービスは英語配列キーボードのみになっております。
一部のパーソナルコンピューター VGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

❑ VAIOぴかぴかサービス

ご使用により汚れたり傷ついてしまった外装部品を交換するサービスです。
一部のパーソナルコンピューターPCGシリーズのみのサービスとなります。

❑ オプティカルドライブ アップグレードサービス

バイオ本体に内蔵されている[CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ]または、[DVD-ROMドライブ]を[書き込み型ドライブ]にアップグレードするサービスです。

ホームページでのお申し込み

VAIOホームページ内「サービス」にある「VAIOカスタマイズサービス」(http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/)よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホームページ上の記載に従ってください。

電話でのお申し込み

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。
お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」(140ページ)をご覧ください。

!ご注意

お申込みに関するご注意

VAIOカスタマイズサービスは、バイオ本体にソニー純正の製品をお取り付けするサービスです。
他社製のコンピュータに対してのアップグレードおよび他社製の製品を使用してのアップグレードサービスはお受けいたしません。
カスタマイズサービスご依頼の前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様自身にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の作業により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、アップグレードに使用する増設メモリや増設ハードディスクなどの在庫が無くなり次第、サービスは終了させていただきます。

「アップグレード完了予定日インフォメーション」サービス

VAIOカスタマーリンク ホームページの「修理／お預かり品状況確認」を使って「本体お預かり予定日」、「アップグレード完了予定日」、「アップグレード完了日」の日程を検索できますのでご利用ください。
アップグレード完了予定日インフォメーションを見るには、「「修理／お預かり品状況確認」について」(135ページ)の手順に従って操作します。

ヒント

ホームページの画面中で「修理品」と記載されている箇所は「アップグレード品」と読みかえてください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

!ご注意

一部の機種では提供されません。

FAX情報サービス

FAX番号:(0466)30-3040

お問い合わせ先について

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(143ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

❑ **VAIOカスタマー登録(56ページ)に関するお問い合わせは**

カスタマー専用デスク
電話番号:(0466)38-1410
受付時間:平日　10:00～18:00(年末年始を除く)

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
なお、バイオの使いかたについてのお問い合わせ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたのお問い合わせ／修理の受付

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス･サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000
「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております(2005年10月 現在)。

修理の受付は

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号:(0466)30-3030
お問い合わせの際は、お手元にバイオ本体をご用意ください。ご指摘の症状によっては、ご案内した操作で問題が解決する場合があります。

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております(132ページ)。
- 受付時間外でのお問い合わせや通話料が気になるかたには、VAIOカスタマーリンクホームページのMySupporterにてサポート情報をご用意しておりますのでご活用ください(130ページ)。
- 付属のソフトウェアについては、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(143ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」を行っていただくようお願いいたします(56ページ)。

受付時間
平日 **10：00～21：00**
土、日、祝日 **10：00～17：00**
（**365**日年中無休）

一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「お問い合わせ」の中の［電話による技術的なお問い合わせ］を選択して、本文中央に表示される［VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表］もあわせてご確認ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名（保証書などに記載されているものです）

② 本機の製造番号（保証書などに記載されている7桁の番号です）

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ヒント
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

④ 本機に接続している**周辺機器名**（メーカー名と型名）

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

修理の場合は

⑩ VAIOカルテ（修理をお申し込みになるとき）

⑪ 筆記用具（修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です）

その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ご注意
- バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（140ページ）をご覧ください。
- 下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

❑ **VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口**（132ページ）**は**

電話番号：**（0466）30-3099**
受付時間：平日　**10：00～21：00**
土・日・祝　**10：00～17：00**（**365**日年中無休）

❑ **FAXでの情報提供**（139ページ）**は**

VAIO**カスタマーリンク**FAX**情報サービス**
FAX番号：**0466-30-3040**

❑ **VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は**

電話番号：**（0466）30-3016**
受付時間：平日　**10：00～21：00**
土・日・祝　**10：00～17：00**

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（134ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
また、ご使用の機種によって付属されているソフトウェアが異なります。「本機に付属されているソフトウェアを確認する」(185ページ)もあわせてご覧ください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **画面左側の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックする。**

3 **表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows XPでは、使用者がOS上で作業を行うために機能を使用するための権限とアクセス許可を必要とします。本機に付属するソフトウェアの中でも、同様に使用するための権限とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに対し、必要な権限とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーで再度ログオンするか、お使いのユーザーに「コンピュータの管理者」アカウントの権限を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」アカウントの使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  権限とアクセス許可について詳しくは、[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

- ❑ Do VAIO
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ Do VAIOバックアップツール
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ Image Converter
  VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

- ❑ DVgate Plus
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ Windows Media(R) Player
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー／ドルビーヘッドホン対応）
  VAIOカスタマーリンク

DVD作成

- ❑ Click to DVD
  VAIOカスタマーリンク

音楽

- ❑ SonicStage
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ SonicStage Mastering Studio
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ SoundFLOW
  VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

- ❑ PictureGear Studio
  VAIOカスタマーリンク

ホームネットワーク

- ❑ VAIO Media
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ VAIO Media Integrated Server
  VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

- ❑ Yahoo!メッセンジャー
  ヤフー株式会社
  ホームページ：
  http://ms.yahoo.co.jp/bin/messenger-ms/feedback
- ❑ Skype
  http://www.skype.com/intl/ja/
- ❑ ドットフォンパーソナルV（みんなでTV電話スタータ）
  ドットフォン パーソナルV サポートセンタ
  電話番号：(0120)050-506
  受付時間：9時～21時（年末年始を除く）
  ホームページ：http://coden.ntt.com/service/pv/

インターネット・メール

- ❑ Microsoft(R) Outlook Express
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ Microsoft(R) Internet Explorer
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ Yahoo!ツールバー
  ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
  電子メール：
  https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
  ※上記ホームページから送信いただけます。
  ホームページ：
  http://www.yahoo.co.jp/
  http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
  （Yahoo!ツールバーヘルプページ）

❑ i-フィルター（体験版）

デジタルアーツ株式会社　i-フィルター･サポートセンター
電話番号：(03)3580-5678
受付時間：月曜～金曜：10時～18時、土曜、日曜、祝日：10時～20時（年末年始を除く）
電子メール：p-support@daj.co.jp
ホームページ：http://www.daj.co.jp/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

ISPサインアップ

❑ So-net簡単スターター

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）(0570)00-1414
（携帯PHS･IP電話から）札幌（011)711-3765
（携帯PHS･IP電話から）仙台（022)256-2221
（携帯PHS･IP電話から）東京（03)3446-7555
（携帯PHS･IP電話から）名古屋（052)819-1300
（携帯PHS･IP電話から）大阪（06)6577-4000
（携帯PHS･IP電話から）広島（082)286-1286
（携帯PHS･IP電話から）福岡（092)624-3910
受付時間：9時～21時（年中無休）
ファックス番号：(03)3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBEでインターネット

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：
(0120)86-0962（通話料無料）
(03)3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～22時（365日受付）
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

ワープロ･表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003 （Service Pack 2含む）

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは

目的に合わせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

❑ Roxio(ロキシオ) DigitalMedia(デジタルメディア) SE(エスイー)

ソニックサポートセンター
電話番号：(03)5232-6400
受付時間：10時～12時、13時～17時（土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ 駅すぱあと

ユーザーサポートセンター
電話番号（テクニカル）：(03)5373-3522
電話番号（バージョンアップ）：(03)5373-3521
受付時間：月曜～金曜：10時～12時、13時～17時（祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
ファックス番号：(03)5373-3523
電子メール：support@val.co.jp
ホームページ：http://ekiworld.net/

❑ デジタル全国地図

ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.its-mo.net/

❑ HD(エイチディ) 革命/BackUp(バックアップ)（バンドル版）

株式会社アーク情報システム　サポート係
電話番号：(03)3234-9251
受付時間：月曜～金曜：10時～12時、13時～17時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03)3234-9252
電子メール：kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ：http://www1.ark-info-sys.co.jp/

❑ Adobe(アドビ)(R) Reader(リーダー)(R)

アドビシステムズ株式会社　テクニカルサポート
「Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）」に関するテクニカルサポートは、Adobe Expert Support（アドビエキスパートサポート）を通してのみご利用いただけます。Adobe Expert Supportに関して詳しくは、http://www.adobe.co.jp/support/expert_support/main.html をご参照ください。
電話番号：(0570)023623（ナビダイヤル）または(03)5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～17時30分（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

❑ ATLAS(アトラス) 翻訳パーソナル 2006 LE(エルイー)

ATLASサポートセンター
電話番号：(03)5462-1934
受付時間：月曜～金曜：9時～12時、13時～17時（祝日を除く）
ファックス番号：(03)5462-2344
電子メール：atlas-qa@css.fujitsu.com
ホームページ：http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

❑ Norton(ノートン) Internet(インターネット) Security(セキュリティ)(TM) 2006

コンシューマ・カスタマーサービスセンター
電話番号：(0570)054115（ナビダイヤル）
受付時間：月曜～金曜：10時～17時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(0570)054116（ナビダイヤル）

❑ Microsoft(マイクロソフト)(R) Office(オフィス) PowerPoint(パワーポイント)(R) Viewer(ビューワー) 2003

本ソフトウェアに関するお問い合わせは一切お受けしておりません。

❑ 一太郎ビューア

一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。
ホームページ：https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❑ 携帯万能 体験版

トリスター　サポートセンター
電話番号：(03)5326-3650
受付時間：10時～22時
ファックス番号：(03)5326-3651
電子メール：support-tri@nihon-e.co.jp
ホームページ：http://www.ssitristar.com/oem/vaio/

❑ 大富豪 Plus5(プラスファイブ) 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：(03)5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～18時（祝日を除く）
ファックス番号：(03)5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ AI囲碁 for Windows 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：(03)5339-9300
受付時間：月曜～金曜：10時～12時、13時～17時（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：(03)5339-9410

❑ AI将棋 for Windows 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：(03)5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：(03)5339-9410

❑ AI麻雀 for Windows 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：(03)5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：(03)5339-9410

❑ AQUAZONE（アクアゾーン） ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版

ユーザーサポートセンター
電話番号：(03)5339-3610
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：support@e-frontier.co.jp
ホームページ：http://www.aztv.gr.jp/

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：(03)5283-3625
受付時間：月曜〜金曜：13時〜18時（祝日を除く）
ファックス番号：(03)5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち

株式会社サンリオ　コンテンツ事業部
電話番号：(03)3779-8097
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜18時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03)3779-8098
電子メール：
contents-support@mailnews.sanrio.co.jp

❑ ドラネットキッズ入学準備体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時 土曜：10時〜18時（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学一年生体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時 土曜：10時〜18時（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ホームページ・ビルダー 体験版

ダイヤルＩＢＭ（製品のご購入相談のみ）
電話番号：(0120)04-1922
受付時間：月曜〜金曜：9時〜18時（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：
http://www.ibm.com/jp/software/internet/hpb/　（製品ホームページ）
http://www.ibm.com/jp/software/esupport/　（製品の技術的なFAQのページ）

❑ 新世紀ビジュアル大辞典 体験版

株式会社学習研究社　「学研電子辞典」係
電子メール：taiken-dc@gakken.co.jp

❑ えいご漬け 改訂版（体験版）

プラト株式会社
電話番号：(03)3456-3803
受付時間：月曜〜金曜 ：10時〜19時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03)3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

❑ 筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：(03)5600-2551
受付時間：9時30分〜12時、13時〜17時（土曜、日曜、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く）
ファックス番号：(03)3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

❑ 時事通信社「家庭の医学」デジタル版II

時事通信出版局 デジタルコンテンツグループ
電話番号：(03)3591-8690
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時
（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku/index2.htm

❑ わが家の家計簿 フェリカ対応版

株式会社夢工房　わが家シリーズサポートセンター
電話番号：(078)291-7126
受付時間：9時〜12時、13時〜17時（土曜、日曜、祝日を除く）
ファックス番号：(078)291-7127
24時間受付（ご質問に対する回答は上記受付時間内）
電子メール：wagaya@yumekobo.jp
ホームページ：http://www.megasoft.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIO(バイオ)ナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ メモリースティックフォーマッタ

ソニー株式会社　テクニカルインフォメーションセンター
ホームページ：
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO(バイオ) ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows(ウィンドウズ) XP(エックスピー) for(フォー) VAIO(バイオ)

インプレスカスタマーセンター
電話番号：(03)5213-9295

❑ VAIO(バイオ)リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO(バイオ) Update(アップデート)

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ Java(ジャバ)(TM) Software(ソフトウェア)

サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ：http://www.java.com/ja/

❑ VAIO(バイオ)オンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号：(0466)38-1410
受付時間：月曜〜金曜：10時〜18時(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

増設／リカバリ

メモリを増設する

メモリを増設するときのご注意

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。
メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

!ご注意

- **メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。**
- **メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。**
- **ソニー製のメモリをご購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。**

- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- **本機の電源を切って、電源コードを抜いて、1時間ほどおいてから作業を行ってください。**
  電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっておりやけどをするおそれがあります。
- **ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**
- メモリ以外のデバイスの交換・増設は行わないでください。本機の故障の原因となります。

メモリを増設するには

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）で画面右側から有償サービスの項目を選んで表示される画面よりご依頼ください。
VAIOカスタマー修理窓口、または販売店でもメモリの増設サービス（有料）をご依頼いただけます。
詳しくは、「VAIOカスタマイズサービスを利用する」（138ページ）をご覧ください。

取り付けられるメモリモジュール

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、標準で512Mバイトのメモリが1枚装着されています。

!ご注意

取り付けるメモリモジュールは、以下のサービスにて提供しています。

- VAIO カスタマイズサービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/
  － 本機をお預かりし、ソニーでメモリモジュールを増設した後に返却するサービスです。
- 部品提供サービス
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/index.html
  － 所有の機種に応じた部品や付属品の一部を有償で送付するサービスです。お客様ご自身でメモリモジュールを増設できます。

* 上記サービスのご利用には My Sony ID もしくは VAIOカスタマーIDが必要となります。

増設後の容量は下記の表をご覧ください。

標準	増設するメモリモジュールの容量	増設後の容量
512Mバイト	256Mバイト(1枚増設)	768Mバイト
512Mバイト	512Mバイト(1枚増設)	1024Mバイト

!ご注意

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

!ご注意

メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

メモリモジュールを取り付ける/取りはずす

メモリモジュールを取り付ける/取りはずすときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- メモリモジュールには向きがあります。
- メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。
- 無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

メモリモジュールを取り付けるには

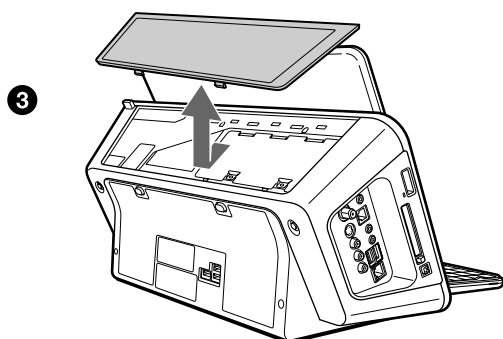
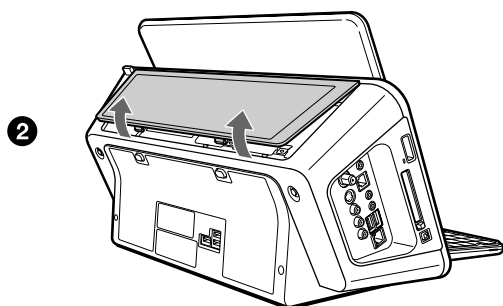
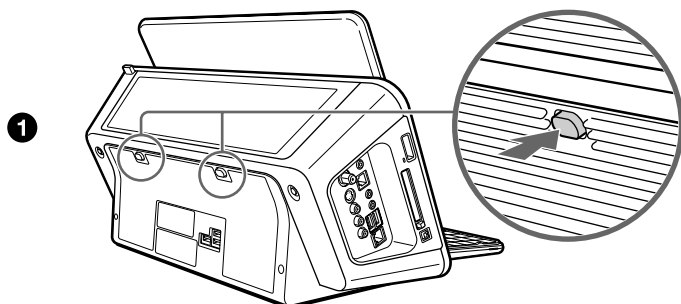
1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。**

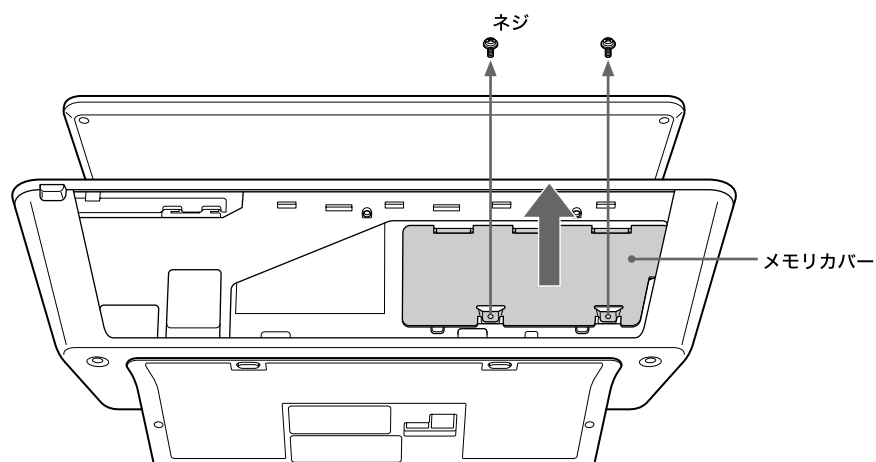
!ご注意

本体の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部やメモリモジュールが熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機上部のカバーを取りはずす。

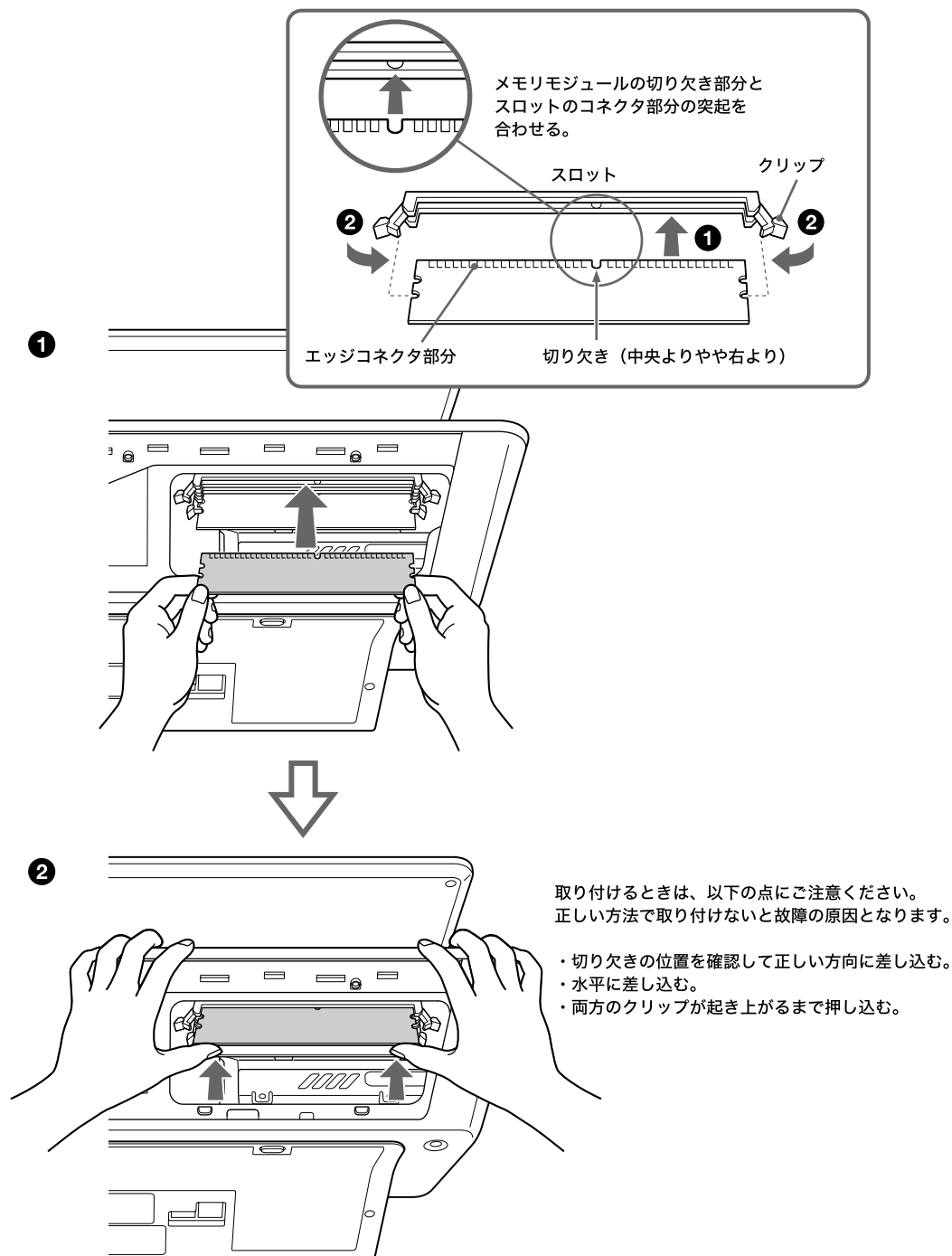
本体後面にあるリリースボタンを押し、カバーを上に引き上げて、取りはずします。

3 メモリカバーを取りはずす。

ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。

4 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分の中央よりやや右側に切り欠きがあります。

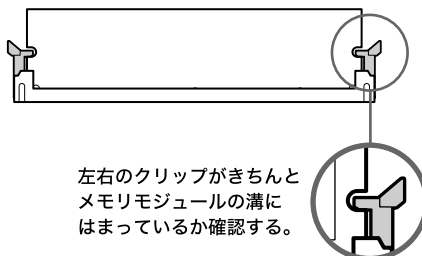
① メモリモジュールのエッジコネクタ部分の切り欠きをイラストのとおりスロットに合わせる。

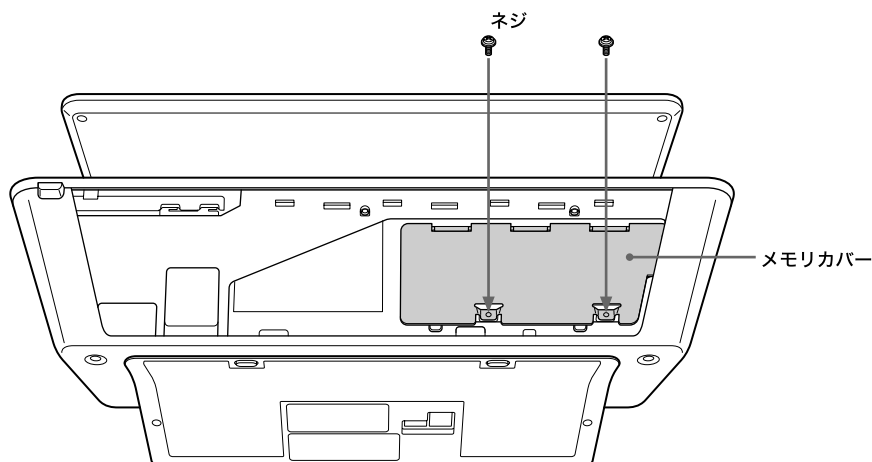
ヒント
エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

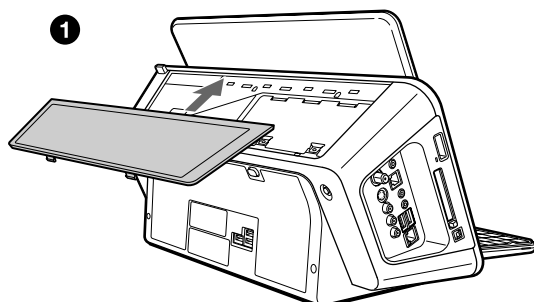
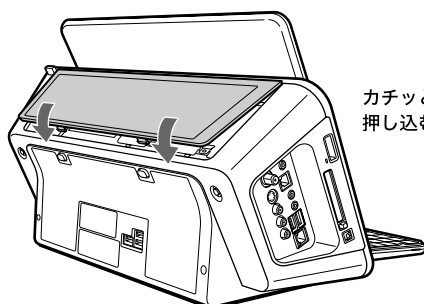
② クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを水平にスロットへ押し込む。

！ご注意
メモリを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。

5 メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

① 左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。

② 左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。

6 メモリカバーの3つのツメを本体の3つの穴に差し、ネジを留める。

7 本機上部のカバーを、取りはずしたときの逆の手順で取り付ける。

カバーを、カチッと音がするまで下に押し込みます。

8 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

9 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

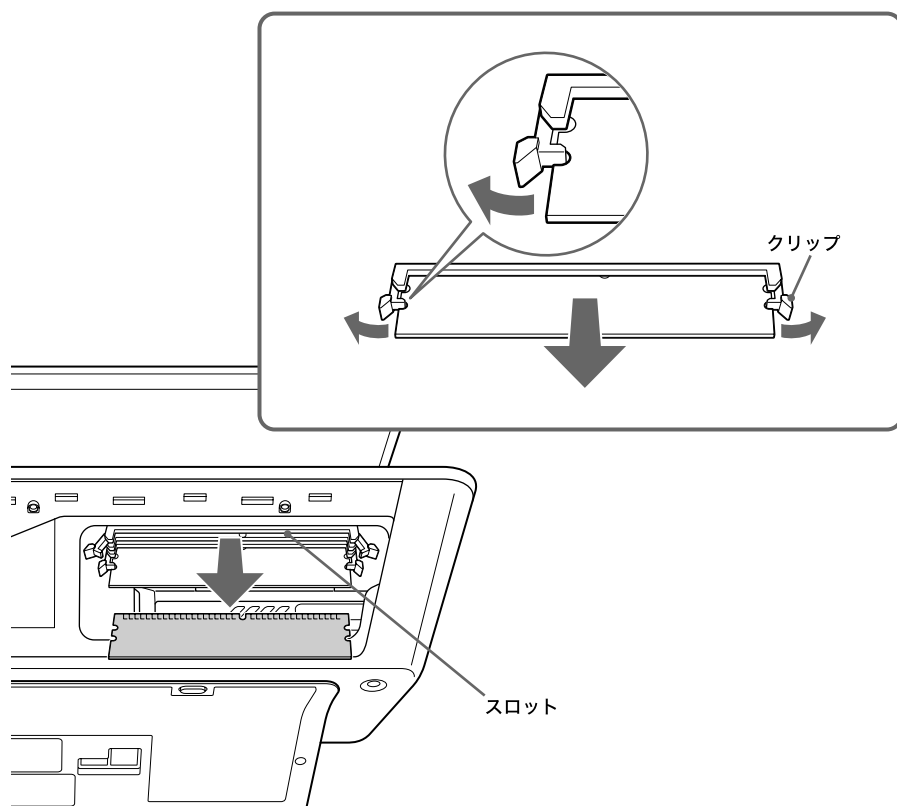
10 [システム情報]をダブルクリックし、[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

11 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

ヒント

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。

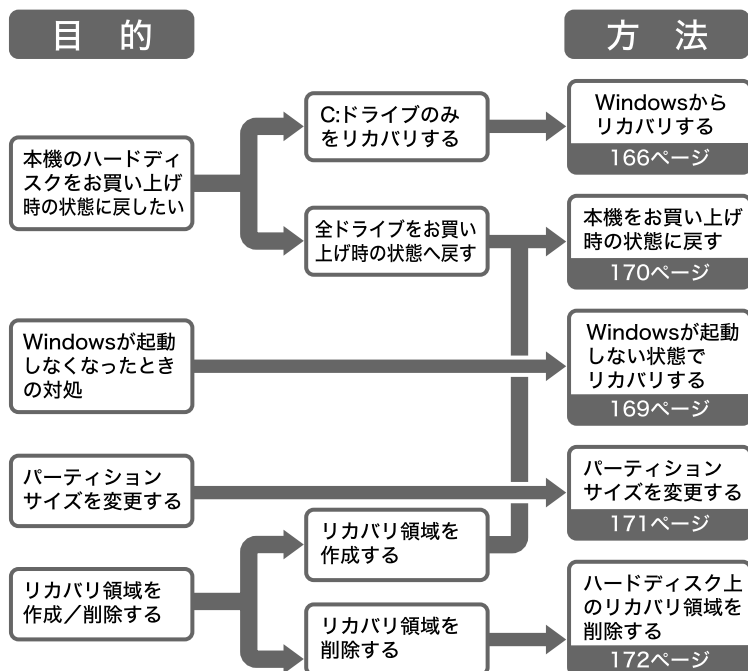
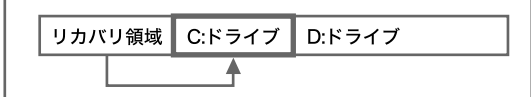
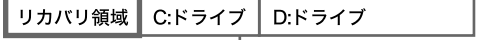
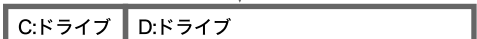
リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、次の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
テレビ／ミュージック／フォト／DVD
困ったときは／サービス・サポート
増設／リカバリ
注意事項

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	• Windowsからリカバリする • Windowsが起動しない状態でリカバリする	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。 <リカバリ後> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態へリカバリする	本機をお買い上げ時の状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 リカバリディスクを使用 ハードディスクの状態 <ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量（約5GB）をデータの保存用などに使用できるようにします。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ リカバリ領域が削除されます。 <リカバリ後> C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備（バックアップ／BIOS）

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp（バンドル版）」を使用する。
  ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］→［HD革命 BackUp（バンドル版）］の順にポインタを合わせ、［HD革命 BackUp 起動（ココから始める）］をクリックして起動します。ドライブ全体のバックアップ、またはファイル・フォルダ単位でのバックアップのどちらかを選択してバックアップが行えます。更に、ファイル・フォルダ単位でのバックアップでは、「電子メールのデータ」「マイドキュメント」などを手軽に指定できる手順が用意されています。操作方法などについて詳しくは、本ソフトウェアの起動後にヘルプをご覧ください。
- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R／CD-RWにコピーする。
- DVDライタブルメディアにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」（166ページ）の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ヒント

ここでは、DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2 ［ツール］メニューから［オプション］をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

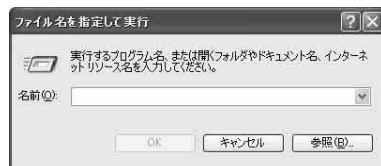
3 ［メンテナンス］タブをクリックし、［保存フォルダ］をクリックします。

「保存場所」画面が表示されます。

4 「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［すべて選択］をクリックする。

5 再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［コピー］をクリックする。

6 ［スタート］ボタンをクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7 **「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。**

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 **表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。**

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックします。
- CD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVDへのデータの保存]→「CDに保存」の[CDにデータを保存する]または[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVDへのデータの保存]→「DVDに保存」の[DVDにデータを保存する]の順にクリックする。)
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ(テレビモデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

！ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、次のように操作します。

1 **本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。**

BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

2 **F5キーを押す。**

「Load Setup Defaults」というメッセージが表示されます。

3 **←／→キーを押して[Ok]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**

すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 **F10(Save and Exit)キーを押す。**

「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 **←／→キーを押して[Ok]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- 専用のUSBフロッピーディスクドライブ(別売り)を取り付けている場合は、取りはずしてください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- **本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。**
  リカバリを行った場合は、OSのライセンス認証は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office PersonalまたはOffice Professional Enterpriseのライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります(「Microsoft Office」ソフトウェアプリインストールモデルをお使いの方のみ)。
- **BIOSのパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。絶対にBIOSのパスワードを忘れないでください。**

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。
バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用してバックアップしたデータは、同ソフトウェアを使用して元に戻します(元に戻すことを「復元」といいます)。復元方法について詳しくはヘルプをご覧ください。

ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]の ○ をクリックして ◉ にし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 [すべてのフォルダ]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
※ご購入にはVAIOカスタマー登録が必要です（56ページ）。

！ご注意
本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD+RやDVD-R、CD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスク上のデータが破損した（Windowsが起動しない）など、お買い上げ時の状態に戻したいときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意

次のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

ヒント
リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［VAIO リカバリツール］の順にポインタを合わせ、［VAIO リカバリユーティリティ］をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 ［リカバリディスクを作成する］を選んでクリックし、［OK］をクリックする。

①ここをクリックする。

②ここをクリックする。

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されます。

3 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

DVD-RまたはDVD+Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のDVD-RまたはDVD+R（4.7GB）を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
DVD-R DLまたはDVD+R DLのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[1枚のDVD-RまたはDVD+R（Double Layer／8.5GB）を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のCD-Rを使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。

！ご注意

- 複数のディスクドライブが接続されている場合、「ディスクドライブの確認」画面が表示される場合があります。利用するディスクドライブを選択してください。
- Blu-ray Disc／DVD+RW／DVD-RW／DVD-RAM／CD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

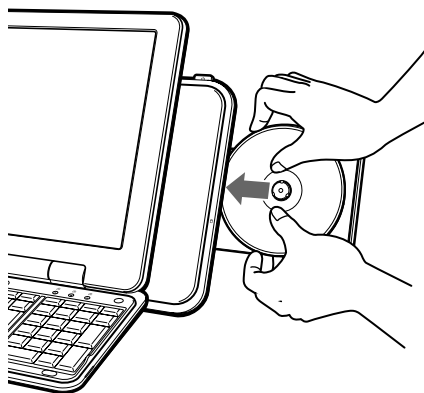
リカバリディスク作成用に必要なディスクの枚数は、手順4の画面で確認できます。
「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

5 [作成開始]をクリックする。

ヒント
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

リカバリディスクの作成が始まります。
未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 指示されたディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

① 横からずらすようにディスクを入れ、トレイ中央の突起部にはめ込む。

横からずらすようにディスクを入れ、ディスクドライブのうしろに触れないように注意しながらパチンとはめ込みます。

② ディスクトレイを横方向に軽く押して、トレイを閉める。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

ヒント
画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。
ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからディスクトレイが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

7 画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」画面が表示されます。

！ご注意
ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

8 [OK]をクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

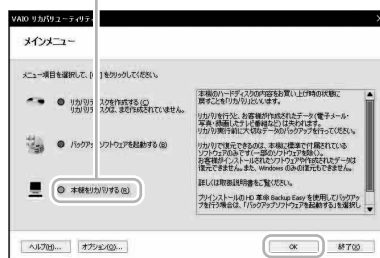
Windowsからリカバリするには、次の手順で操作します。Windowsが起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windowsが起動しない状態でリカバリする」（169ページ）をご覧ください。

！ご注意
リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください（161ページ）。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント
「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」（170ページ）をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

バックアップされているかどうかの確認画面が表示されます。

ヒント
「HD革命/BackUp」ソフトウェアを使用してデータのバックアップを行う場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

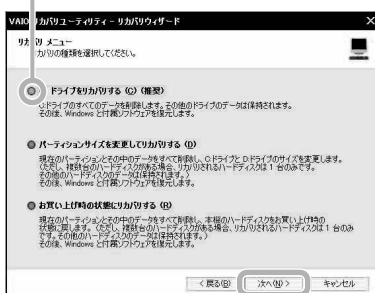
3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C:ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 画面の内容を確認し、[リカバリ開始]をクリックする。

「リカバリを開始してもよろしいですか?」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

リカバリを中止するときは、[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。
本機が再起動して、しばらくすると「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント
リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。

8 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意
- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、(ポインタ)だけがしばらく表示されていますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(50ページ)の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「「アプリケーションリカバリ」を行います。」画面が表示されます。

!ご注意
Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。
この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

ヒント
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

11 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、アプリケーションのインストールを開始します。

ヒント
途中でディスクを挿入するようメッセージが表示された場合は、ドライブにディスクを入れてください。

12 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がプリインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

❑ **Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする**

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

Office Personal 2003プリインストールモデルをお使いの場合

「Office Personal 2003 のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でOffice Personal 2003をインストールする。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合

「Office Professional Enterprise 2003のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Professional Enterprise 2003プレインストールパッケージ」でOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「インストールの種類」画面が表示されたら、[完全インストール]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

③「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

④「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスを □ にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、[ヘルプ]メニューの[更新のチェック]をクリックする。

② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。

③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

ヒント

本機では、「C:¥Program Files¥Office11¥SP2」にOffice 2003 Service Pack 2のインストール用プログラムが保存されています。リカバリ時にOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行うと自動で「Office 2003 Service Pack 2」はインストールされますのでお客様がインストールする必要はありません。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は、手順15に進んでください。

14 Office Personal 2003プレインストールパッケージで、Microsoft(R) Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Microsoft(R) Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。

③「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

④「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

⑤「Microsoft(R) Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
Office Home Style+のインストールが完了しました。

15 「Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行います」画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

16 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

これでリカバリが完了しました。

17 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。
ライセンス認証専用窓口
電話番号:(0120)801-734　受付時間:24時間受付

!ご注意
インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(67ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、次の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成(164ページ)している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。

1 電源ボタンを押して本機の電源を入れ、「VAIO」ロゴが表示されたあと、F10キーを押す(起動には数分かかる場合があります)。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクでもリカバリウィザードを起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

!ご注意
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  ([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1]の順にクリックする。)
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(170ページ)をご覧ください。
- リカバリ領域を削除している方は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

2 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3 「Windowsからリカバリする」(166ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、次の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意
この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(48ページ)をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1]の順にクリックする。)

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

11 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

12 「Windowsからリカバリする」(166ページ)の手順9以降の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。Windows OSやプリインストールソフトウェアはC:ドライブに保存されており、D:ドライブ（機種によって異なります）は、「SonicStage」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェア、Do VAIO（テレビモデル）などで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（お買い上げ時）。

本機のハードディスクのパーティションサイズについて

下記の「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより現在のパーティションサイズを確認することができます。確認後［キャンセル］をクリックしてください。
お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます（172ページ）。
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまうので、本機のご使用前にこれらの操作を行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

次の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

! ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

ヒント

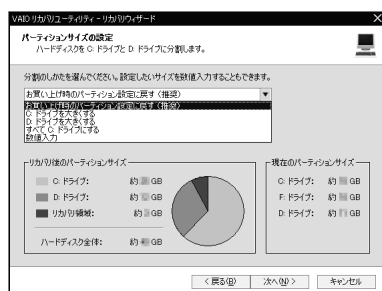
- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
  バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ（テレビモデル）は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ（お買い上げ時の設定ではD:ドライブ（機種によって異なります））に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ（お買い上げ時の設定ではD:ドライブ（機種によって異なります））をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

1 「Windowsからリカバリする」(166ページ)の手順1～4を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 ハードディスクの分割のしかたを、▼をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント
「数値入力」を選択すると、指定された範囲のサイズを入力することができます。

!ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合にはバックアップソフトをご使用できなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを少なくした場合には、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。データ保存ドライブの変更方法は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 「Windowsからリカバリする」(166ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

次の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- 「リカバリディスクを作成するには」(164ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(48ページ)をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  ([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1]の順にクリックする。)

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域を削除するように設定します。」画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 [次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」(166ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です。)また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。
- ハードディスクの増設に対応したモデルをお使いの場合には、増設用のハードディスクドライブベイに増設したハードディスクのみ取りはずすことができます。

ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめ

します。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

Do VAIOについて（テレビモデル）

本機へアナログ入力するときのご注意

Do VAIOのテレビ録画機能を使って、本機のアナログ入力コネクタから動画を取り込むとき、動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機左側面のS VIDEO／VIDEO（S映像入力／映像入力）コネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

ケーブルテレビを受信するときのご注意

ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送（サービス）が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

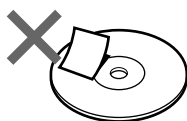
システムの復元をご使用になるときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。その場合、Do VAIOの設定が失われることがあります。

CD／DVDディスクの取り扱いについて

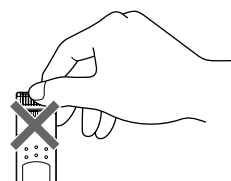
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

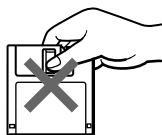
- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内

部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。

- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。

- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

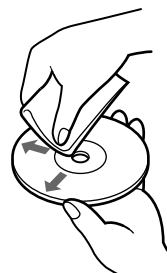
本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

CD／DVDディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（いずれも有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

主な仕様

モデル		VGC-M54シリーズ	VGC-M34シリーズ
OS		Microsoft® Windows® XP Home Edition	
プロセッサ		インテル® Celeron® プロセッサ	
動作周波数		2.80GHz	
キャッシュメモリ		1次キャッシュ12Kμ命令 実行トレースキャッシュ／8KB・データキャッシュ／2次キャッシュ128KB（CPU内蔵）	
システムバス		400MHz	
チップセット		SiS 661FXチップセット	
メインメモリ（標準／最大）		512MB／最大1GB[*1]（DDR SDRAM、DDR400対応）	
拡張メモリスロット（空きスロット数）		DIMMスロット（DDR SDRAM、184ピン）× 2（1）	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	SiS 661FXチップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	32MB（メインメモリ共有）	
	液晶表示装置	15.4型ワイド（1280 × 800）TFTカラー液晶、最大傾斜角度+25度〜-3度（垂直からの可動範囲）	
	表示モード	約1619万色[*2]（1280 × 800、1024 × 768[*3]、800 × 600[*3]、キーボード閉時：1280 × 290）	
記憶装置	ハードディスクドライブ	約300GB（Ultra ATA/100 7200回転/分） Cドライブ約30GB／Dドライブ約264GB [*4][*5]	約250GB（Ultra ATA/100 7200回転/分） Cドライブ約30GB／Dドライブ約214GB [*4][*5]
	MPEG映像録画時間[*6]	高画質 約72時間／標準 約137.5時間／長時間 約218.5時間	−
	DV映像録画時間[*6]	約19時間	約15時間
	CD／DVDドライブ[*7][*8][*9]	DVDスーパーマルチドライブ（DVD ± R 2層記録対応） • 書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大2.4倍速[*10]、DVD+R最大8倍速、DVD+RW最大4倍速、DVD-R DL（Dual Layer）最大2倍速[*11]、DVD-R最大8倍速[*12]、DVD-RW最大4倍速[*13]、DVD-RAM最大5倍速[*14]、CD-R最大24倍速、CD-RW最大10倍速 • 読み出し：最大8倍速（DVD-ROMの場合）、最大24倍速（CD-ROMの場合） ＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞	
	フロッピーディスクドライブ	別売り VGP-UFD1（USB経由外付け、3.5型）	
外部接続端子	側面／背面	• Hi-Speed USB（USB2.0）× 5（high/full/low speed対応、うち1つはマウス専用） • 音声入力（ステレオ、ミニジャック）× 1 • マイク入力（モノラル、ミニジャック）× 1 • ヘッドホン出力（ステレオ、ミニジャック）× 1 • ネットワーク（LAN）コネクタ（100BASE-TX／10BASE-T）× 1 • モデム用モジュラージャック（LINE）× 1 • i.LINK S400（4ピン）× 1	
	MPEG2ハードウェアエンコーダー用端子（側面）	• 映像入力（ピンジャック）× 1 • S映像入力 × 1 • 音声入力（ステレオ、ピンジャック）× 1 • TVアンテナ入力（75Ω、F型コネクタ）× 1	−
本体前面インターフェイス		リモコン受光部内蔵	−
メモリーカードスロット		メモリースティック（標準/DUOサイズ対応スロット、マジックゲート対応、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応）× 1	
PCカードスロット		TypeII × 1、CardBus対応	
MPEG2ハードウェアエンコーダーボード		• ビデオキャプチャー機能（ビデオ入力→リアルタイム変換機能）、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 • TVチューナー（VHF1〜12ch、UHF13〜62ch、CATV C13〜C63ch[*15]、ステレオ/2か国語）[*16] • 録画形式（選択可能）： - 高画質モード（MPEG2 8Mbps 720 × 480 30fps）約17分／1GB - 標準モード（MPEG2 4Mbps 720 × 480 30fps）約34分／1GB - 長時間モード（MPEG2 2.5Mbps 352 × 240 30fps）約53分／1GB • 録音形式：MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ	−
オーディオ機能		AC97準拠オーディオ、3Dオーディオ（Direct Sound 3D対応）× 1	
スピーカー／アンプ		サテライト：3W＋3W（JEITA）、サブウーファー：5W（JEITA）	
内蔵モデム[*17]		最大56kbps（V.90）[*18]／最大33.6kbps（V.34）／最大14.4kbps（FAX時）	
主な付属品		「付属品を確かめる」（22ページ）をご覧ください。	
電源		AC100V ± 10%／50〜60Hz	
消費電力		約75W（最大約264W）／スタンバイ時 約2.0W	約65W（最大約264W）／スタンバイ時 約2.0W
定格消費電流		2.6A	
温湿度条件		動作温度：10℃〜35℃（温度勾配10℃／時以下）、動作湿度：40%〜80%（結露のないこと）、 保存温度：-20℃〜60℃（温度勾配10℃／時以下）、保存湿度（結露のないこと）	
外形寸法		液晶最大傾斜・キーボード収納時：約幅482mm × 高さ279mm × 奥行き205mm 液晶直立・キーボード使用時：約幅482mm × 高さ301mm × 奥行き342mm	
質量		約9kg	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
高調波電流規制について：この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

注釈*1〜*18は次ページをご覧ください。

*1　標準装備されているメモリモジュールをすべて取りはずし、512MBメモリモジュール（PCVA-MM512F）を2枚増設した場合です。

*2　ディザリング機能によって実現。

*3　全画面表示はできません。

*4　本機は、ハードディスクドライブ内にリカバリ（工場出荷時の状態に戻す）に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約6GBを消費します。

*5　1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。

*6　記録可能な映像の時間は、映像の内容によって多少前後することがあります。

*7　使用するディスクによっては、一部の書き込み/読み込み速度に対応していない場合があります。

*8　本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応しておりません。

*9　CPRM対応のDVDディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生は「WinDVD」ソフトウェアで可能です。また、「1回だけ録画可能」な番組のDVDディスクへの書き込みはできません。（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）

*10　DVD+R DL（Double Layer）の書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみ可能です。

*11　DVD-R DL（Dual Layer）の書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。

*12　DVD-Rは、「DVD-R for General Ver.2.0/2.1」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*13　DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*14　DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB）の書き込みには対応しておりません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*15　CATVの受信サービス（放送）の行われている地域でのみ受信可能です。CATVを受信するときには、使用する機器ごとにCATV会社の受信契約が必要です。さらに、スクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。詳しくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。

*16　BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。

*17　一般電話回線のみに対応しています。交換機（PBやホームテレホンなど）を経由する回線には対応していません。

*18　56kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は規格上33.6kbpsに制限されています。

モデル		VGC-M74シリーズ
OS		Microsoft® Windows® XP Home Edition
プロセッサ		モバイル インテル® Pentium®4 プロセッサ538*1（HTテクノロジ対応、拡張版Intel SpeedStep® テクノロジ搭載）
動作周波数		3.20GHz
キャッシュメモリ		1次キャッシュ12Kμ命令 実行トレースキャッシュ／16KB･データキャッシュ／2次キャッシュ1MB（CPU内蔵）
システムバス		533MHz
チップセット		SiS 661FXチップセット
メインメモリ（標準／最大）		512MB／最大1GB*2（DDR SDRAM、DDR400対応）
拡張メモリスロット（空きスロット数）		DIMMスロット（DDR SDRAM、184ピン）×2（1）
表示機能	グラフィックアクセラレータ	SiS 661FXチップセットに内蔵
	ビデオメモリ	32MB（メインメモリ共有）
	液晶表示装置	15.4型ワイド（1280×800）TFTカラー液晶、最大傾斜角度+25度〜-3度（垂直からの可動範囲）
	表示モード	約1619万色*3（1280×800、1024×768*4、800×600*4、キーボード閉時：1280×290）
記憶装置	ハードディスクドライブ	約300GB（Ultra ATA/100 7200回転/分） Cドライブ約30GB／Dドライブ約264GB *5 *6
	MPEG映像録画時間*7	高画質 約72時間／標準 約137.5時間／長時間 約218.5時間
	DV映像録画時間*7	約19時間
	CD／DVDドライブ*8 *9 *10	DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応） • 書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大2.4倍速*11、DVD+R最大8倍速、DVD+RW最大4倍速、DVD-R DL（Dual Layer）最大2倍速*12、DVD-R最大8倍速*13、DVD-RW最大4倍速*14、DVD-RAM最大5倍速*15、CD-R最大24倍速、CD-RW最大10倍速 • 読み出し：最大8倍速（DVD-ROMの場合）、最大24倍速（CD-ROMの場合） ＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞
	フロッピーディスクドライブ	別売り VGP-UFD1（USB経由外付け、3.5型）
外部接続端子	側面／背面	• Hi-Speed USB（USB2.0）×5（high/full/low speed対応、うち1つはマウス専用） • 音声入力（ステレオ、ミニジャック）×1 • マイク入力（モノラル、ミニジャック）×1 • ヘッドホン出力（ステレオ、ミニジャック）×1 • ネットワーク（LAN）コネクタ（100BASE-TX／10BASE-T）×1 • モデム用モジュラージャック（LINE）×1 • i.LINK S400（4ピン）×1
	MPEG2ハードウェアエンコーダー用端子（側面）	• 映像入力（ピンジャック）×1 • S映像入力×1 • 音声入力（ステレオ、ピンジャック）×1 • TVアンテナ入力（75Ω、F型コネクタ）×1
本体前面インターフェイス		リモコン受光部内蔵
メモリーカードスロット		メモリースティック（標準/DUOサイズ対応スロット、マジックゲート対応、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応）×1
PCカードスロット		TypeII ×1、CardBus対応
MPEG2ハードウェアエンコーダーボード		• ビデオキャプチャー機能（ビデオ入力→リアルタイム変換機能）、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 • TVチューナー（VHF1〜12ch、UHF13〜62ch、CATV C13〜C63ch*16、ステレオ/2か国語）*17 • 録画形式（選択可能）： - 高画質モード（MPEG2 8Mbps 720×480 30fps）約17分／1GB - 標準モード（MPEG2 4Mbps 720×480 30fps）約34分／1GB - 長時間モード（MPEG2 2.5Mbps 352×240 30fps）約53分／1GB • 録音形式：MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ
オーディオ機能		AC97準拠オーディオ、3Dオーディオ（Direct Sound 3D対応）×1
スピーカー／アンプ		サテライト：3W＋3W（JEITA）、サブウーファー：5W（JEITA）
内蔵モデム *18		最大56kbps（V.90） *19／最大33.6kbps（V.34）／最大14.4kbps（FAX時）
主な付属品		「付属品を確かめる」（22ページ）をご覧ください。
電源		AC100V±10％／50〜60Hz
消費電力		約75W（最大約264W）／スタンバイ時 約2.0W
定格消費電流		2.6A
温湿度条件		動作温度：10℃〜35℃（温度勾配10℃／時以下）、動作湿度：40％〜80％（結露のないこと）、 保存温度：-20℃〜60℃（温度勾配10℃／時以下）、保存湿度（結露のないこと）
外形寸法		液晶最大傾斜･キーボード収納時：約幅482mm×高さ279mm×奥行き205mm 液晶直立･キーボード使用時：約幅482mm×高さ301mm×奥行き342mm
質量		約9kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
高調波電流規制について：この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

注釈*1〜*19は次ページをご覧ください。

*1 HTテクノロジは従来のドライバやソフトウェアが作動しない場合があります。各ソフトウェアメーカー、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
*2 512MBメモリモジュール（PCVA-MM512F）を1枚増設した場合です。
*3 ディザリング機能によって実現。
*4 全画面表示はできません。
*5 本機は、ハードディスクドライブ内にリカバリ（工場出荷時の状態に戻す）に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約6GBを消費します。
*6 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*7 記録可能な映像の時間は、映像の内容によって多少前後することがあります。
*8 使用するディスクによっては、一部の書き込み/読み込み速度に対応していない場合があります。
*9 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応しておりません。
*10 CPRM対応のDVDディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生は「WinDVD」ソフトウェアで可能です。また、「1回だけ録画可能」な番組のDVDディスクへの書き込みはできません。（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）
*11 DVD+R DL（Double Layer）の書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみ可能です。
*12 DVD-R DL（Dual Layer）の書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。
*13 DVD-Rは、「DVD-R for General Ver.2.0/2.1」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*14 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*15 DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB）の書き込みには対応しておりません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*16 CATVの受信サービス（放送）の行われている地域でのみ受信可能です。CATVを受信するときには、使用する機器ごとにCATV会社の受信契約が必要です。さらに、スクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。詳しくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。
*17 BS･CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。
*18 一般電話回線のみに対応しています。交換機（PBやホームテレホンなど）を経由する回線には対応していません。
*19 56kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は規格上33.6kbpsに制限されています。

本機に付属されているソフトウェアを確認する

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：　ご使用の機種に付属されています。

□：　ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。

ー：　ご使用の機種には付属されておりません。

	VGC-M74/S	VGC-M54B/L･M54B/P･M54B/S	VGC-M34B/S
AVエンターテインメント			
Do VAIO Ver.1.6	○	○	○
Do VAIOバックアップツール	○	○	○
Image Converter 2 Plus	○	○	○
ビデオ編集･再生			
DVgate Plus Ver.2.2	○	○	○
Windows Media(R) Player 10	○	○	○
WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○
DVD作成			
Click to DVD Ver.2.5	○	○	○
音楽			
SonicStage Ver.3.3	○	○	○
SonicStage Mastering Studio Ver.2.1	○	○	○
SoundFLOW	○	○	○
静止画･写真			
PictureGear Studio Ver.2.0	○	○	○
ホームネットワーク			
VAIO Media Ver.5.0	○	○	○
VAIO Media Integrated Server Ver.5.0	○	○	○
コミュニケーション			
Yahoo!メッセンジャー	○	○	○
Skype	○	○	○
ドットフォンパーソナルV（みんなでＴＶ電話スタータ）	○	○	○
インターネット･メール			
Microsoft(R) Outlook Express 6	○	○	○
Microsoft(R) Internet Explorer 6	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○
i-フィルター 4（体験版）	○	○	○
ISP サインアップ			
So-net簡単スターター	○	○	○
BIGLOBEでインターネット	○	○	○
ワープロ･表計算			
Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 2含む）	−	○	○
実用ツール			
Roxio DigitalMedia SE 7	○	○	○
駅すぱあと	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○
HD革命/BackUp（バンドル版）	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 7.0	○	○	○
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE	○	○	○
Norton Internet Security(TM) 2006	○	○	○
Microsoft(R) Office PowerPoint(R) Viewer 2003	○	○	○
一太郎ビューア 3.0	○	○	○
実用ツール（VAIOソフトウェアセレクション）			
携帯万能15 体験版	○	○	○

	VGC-M74/S	VGC-M54B/L･M54B/P･M54B/S	VGC-M34B/S
大富豪 Plus5 体験版	○	○	○
AI囲碁 Version 14 for Windows 体験版	○	○	○
AI将棋 Version 12 for Windows 体験版	○	○	○
AI麻雀 Version 8 for Windows 体験版	○	○	○
AQUAZONE ビジュアル･エディション 水中庭園 トライアル版	○	○	○
タイピング競馬 体験版	○	○	○
サンリオ タイニーパーク･ランチャー＋ハローキティのいろとかたち	○	○	○
ドラネットキッズ入学準備体験版	○	○	○
ドラネット小学一年生体験版	○	○	○
ホームページ･ビルダー V9 体験版	□	□	□
新世紀ビジュアル大辞典 体験版	○	○	○
えいご漬け 改訂版 (体験版)	○	○	○
実用ツール(暮らし役立ちパック)			
筆ぐるめ Ver.13	○	○	○
時事通信社｢家庭の医学｣デジタル版II	○	○	○
わが家の家計簿 フェリカ対応版	○	○	○
設定･ユーティリティ			
VAIOナビ	○	○	○
メモリースティックフォーマッタ	○	○	○
バイオの設定 Ver.1.1	○	○	○
サポート･ヘルプ			
バイオ電子マニュアル	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.1	○	○	○
できるWindows XP for VAIO	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○
VAIO Update Ver.2.1	○	○	○
その他			
Java(TM) Software	○	○	○
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎:再生、記録可能
○:再生のみ可能、記録不可
×:再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL(Double Layer)	◎ *1
DVD-R DL(Dual Layer)	◎ *2
DVD+R/RW	◎
DVD-R/RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R/RW	◎
VIDEO CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。DVD-R DLを用いて作成したディスクは他の機器で読めない場合があります。書き込みができるソフトウェアは「Roxio DigitalMedia(ロキシオ デジタルメディア)」ソフトウェアのみです。
*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*6 DVD-RAMは、Ver.1(片面 2.6Gバイト)の書き込みには対応していません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録/再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW/DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- データ形式での追記は、付属の「Roxio DigitalMedia」ソフトウェアにより可能です。なお、追記にて記録したデータは、他のDVDドライブでは読み出せない場合があります。
- DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク(星型、ハート型、カード型など)や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。

- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRM対応のDVD-R/DVD-RW/DVD-RAMに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生は「WinDVD(ウィンディーブイディー)」ソフトウェアで可能です。
(CPRM:Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。)
- CPRM対応のDVD-R/DVD-RW/DVD-RAMでの「1回だけ録画可能」な番組の録画はできません。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R/CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL/DVD+R/DVD+RW/DVD-R DL/DVD-R/DVD-RWを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスを操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入/切しない。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入/切しない。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしない。

索引

バイオ電子マニュアル

が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、OpenMG は、ソニー株式会社の商標です。
- 「So-net」、「ソネット」、「So-netのロゴ」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPoint、EncartaおよびEncartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- 「ボーダフォンライブ！」は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- 「iモード」はNTTドコモの登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Mutlichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford.Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Adobe、Adobeロゴ、およびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。(C)2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- (C)2001 UNBALANCE Corporation
- AI囲碁は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) David Fotland 2005
  (C) i4 CORPORATION 2005
- AI将棋は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) HIROSHI YAMASHITA 2004
  (C) i4 CORPORATION 2004
- AI麻雀は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) i4 CORPORATION 2004
- (C)2003 UNBALANCE Corporation
- (C)1976, 2005 SANRIO CO., LTD.（E）
- Copyright(c) 1993-2006 FUJISOFT ABC Inc.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況にあった解決方法を提供しています。

テーマ別にバイオの楽しみかたを紹介

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

バイオで楽しむためのカスタマー専用情報を提供しています。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオならできること、バイオだからできることを紹介しています。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

受付時間
平日：10時〜21時
土、日、祝日：10時〜17時

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時〜18時
（年末年始は除く）

有償サービス

VAIOホームページでは、登録カスタマーのみなさまにさまざまな有償サービスをご提供しています。

■VAIOメール
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Mail/
プロバイダに左右されない「@xxx.vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。

■VAIOソフトウェアセレクション
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/
クリエイティブ系や実用ソフトなどをVAIOカスタマー優待価格でダウンロード販売します。

■VAIOカスタマイズサービス
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/
ご愛用のバイオのハードディスクやメモリをアップグレードします。
ノートブック型では英語キーボード交換サービスも行っています。

■VAIO延長保証サービス
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/
バイオ本体の保証期間を3年間に延長します。

■VAIO Overseas Service
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/
海外でバイオのサポートを電話で受けられるサービスです。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

VAIOカスタマーリンク
使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000
※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

2-669-966-**01** (1)